京城日報
十四日夕刊
發行所 京城日報社

◎獨艇太平洋出現説
桑港鎭守府長官の警告

桑港來電=桑港海軍鎭守府司令長官は目下航海中の船舶に宛て獨逸潜航艇が太平洋に於て活動し居れるを信ずる旨無線電信を以て警告したり(紐育電報)
附記　右に關し海軍省は未だ何等の情報に接せず從つて眞否を斷ずる事能はざれども恐らくは何等かの間違ならんと

◎ヴ山脈北方戰公報

英國公報に曰く英軍はヴヰミー山脈の北方に於て獨軍陣地二個所を奪ひ今やスーシエ河を超えて戰線を布けり(東京特電)

◎佛軍敵陣地を占領

佛軍はサン、カンタンの下方に重要なる敵陣地數箇所を占領しシャムペーニュ、サピノールの東方戰線より獨兵を驅撤したり(路透電報)

◎獨逸内政と憲法改革
カイゼル帝の勅命=憲法は戰後改正

本朝獨逸帝國議會及び普國帝國議會は政府に對し戰時中直ちに内政を改革し議院政治を採用すべく此の目的を以て帝國議會に憲法改正委員會設置を決議せしが四月七日獨逸皇帝は勅命を下し「朕は國民と共に國家全體の利益を増進する爲め戰時事情の許す限り國内の政治上經濟上社會上の改革を實行するに決意せり尤も憲法の根本的改正は戰後に讓るべきも當局は今より其の準備に着手すべし特に普國下院の選擧法に就ては直ちに普通選擧權直接秘密投票を認むる具體的法案を起草すべし上院も亦一層國民の各階級職業を代表せしむべし」と命令せり……十三日某筋着電(東京特電)

◎獨師團長捕虜となる

獨逸第十七師團長は聯合軍の爲めに捕虜となれり(倫敦電報)

◎前露皇室財産國有

露國臨時政府は前露皇室所有に係る財産全部を國有とする事に決定せり(哈爾賓電報)

◎露政府の穀類專賣

露國政府は穀類の官營專賣を決定せり(哈爾賓電報)

◎四民平等主義實現
下士卒優遇=民權の擴張

露國假政府は四民平等主義に基き下士卒に對する束縛を撤廢し一般人民に同等の權利を附與せり(長春特電)

◎露國陸海軍を戒飭

露國假政府陸相兼海相グウチコフ氏は陸海軍下士卒に對し戒飭の訓令を發したり(長春特電)

◎芬蘭議會親露聲明

芬蘭議會は十一日開會式を擧行し議長は全院を代表して露國の自由制度を祝し芬蘭は今又露西亞と等しく君主國たらず一層民主的なる制度を設定し新基礎の上に芬蘭と露西亞との相互關係を建設するを要す今日より以後兩國民は親睦同盟して起たざる可からずと(露都電報)

◎支那軍事會議召集

支那政府は對獨問題に付き來る二十日北京に全國軍事會議を開く可く目下準備中なり(北京電報)

◎支那政府宣戰可決

北京來電=支那政府の國務會議は對獨宣戰に異議なきに決せりと傳へらる(東京電報)

◎顏公使歸國

駐獨支那公使顏惠慶氏はデンマーク經由歸國の途に就けり(北京電報)

◎前法制長官違反

小川平吉氏は前法制局長官高橋作衛氏に對し選擧法違反の告訴を提起せり(東京電報)

◎哈爾賓鮮人會

哈爾賓居住の朝鮮人は從來共濟會なる團體を組織し専ら患難相救ふに至極單純の目的を以て會則實行し居たりしが今回共濟會を鮮人居留民會の組織に改め今回其の筋へ手續中なりと(長春特電)

◎關西銀行大會

十四日關西銀行大會開催せられ大阪中の勝田藏相等の演説ありたり(大阪特電)

◎對露貿易減退

三月中に於ける哈爾賓經由の對露貿易總額は八千百二十萬二千四百留にして前月に比し二十六萬七千四百留の減少なり之れ露國政變の結果取引減退せるが爲めなり(長春特電)

◎前田上院議員來鮮

貴族院議員前田正名氏は十四日朝入港の昌慶丸にて釜山着大廳町吉野氏方にて休憩の上同夜十一時發列車にて大田、京城を經て哈爾賓に向ふ(釜山特電)

◎川上東拓理事來全

東洋拓殖會社理事川上常郎氏は湖南地方視察の途次着全十三日當地主なる官民を招待し十四日金提へ向け出發せり(全州特電)

◎臨時議會開期

[illegible]貴族院書記官長の談に依れば臨時議會は來る五月十日召集令を發布し六月二十日頃開會さるべし(東京)

◎總督南浦視察

長谷川總督は十三日午前十時三十分宇佐美内務部長官古海鐵務課長を帶同し工藤平南道長官、高橋總督附武官、大島副官三浦中尉神田秘書官宮籠通譯官宍戸屬瀧平南警務長等を隨へ臨時特別列車にて鎭南浦に到著せり之れより先き驛構内には[illegible]

▲列を整して

總督一行を出迎へたるが著車と共に陸軍大將の正服に功一級金鵄勳章を佩べる長谷川總督は靜かにプラットホームに降り立ち中野府尹の紹介、河通譯の通譯にて先づ支那領事胡惠氏に出迎へを謝し次いで各出迎者に對し一々會釋をなし自動車に坐乘し中野府尹の先導にして鎭南浦府廳に入り直ちに樓上に於て中野府尹の紹介に依り[illegible]諸氏を引見したる後府尹より約三十分に渉り詳細なる管内事務報告を聽取し然る後内務稅務の各室を一巡したるが小谷大刀川兩主任より夫れ〳〵各所管事項に關する上申ありかくて午前十一時三十分

▲公立小學校

に赴き小川校長の新女小學校幼稚園の沿革生徒數及び編成職員敎育方針生徒の府縣別父兄の職業卒業生の針路等の綿密なる上申を聽取したる後各敎室に就き就學の狀況を見正午十二時更に富田氏の建設せる獻穀記念碑を見て零時二十分隨員及び中野府尹と共に三和花園に向ひ晝食を了り小憩の上商工學校に至り毛利校長の校務報告を受け午後一時四十五分野手稅關長の案内にて稅關波止場に至り

▲軍需米荷役

の實況を見物しつゝ野手稅關長に對し築港に關する質問あり稅關長は築港の沿革より說き起し現在に至る迄委曲說明して來南中の關土木課長技術に關する說明を試みたるが何れも頗る熱心に聽取したり夫より稅關長室に入るや野手稅關長は管内事務報告をなしたるが午後三時總督は

▲久原製錬所

に到著小瀧所長の東道にて各事務室發電所熔鑛爐等を巡視し少憩の上車を鎭南浦驛に驅り午後四時三十分平壤に引返したり出迎の時と同じく盛なる見送りありたるが此日春光麗かに市中は各戸共國旗を揭げて敬意を表したり(平壤)

▲沙里院に向ふ

長谷川總督は十四日午前八時四十分沙里院に向け平壤を出發せり停車場には官民軍隊學校生徒の見送り盛なりき(平壤特電)

南北滿洲視察團

團員總數百三名!!
愈拾五日朝出發!!

兩社主催南北滿洲視察團は定員一百名の日鮮紳を網羅して編成愈拾五日午前九時十分發北上す一路平安花笑ひ鳥歌ふ陽春在滿官民の歡迎に浴せん

主催　京城日報社　每日申報社

◎總督歸還期

西鮮地方巡察中なりし長谷川總督一行は十三日午後海州着十四日は黃海道廳其の他の官衙を視察し同夜は同地に宿泊十五日更に沙里院に出で午後六時四十五分南大門驛着臨時列車にて歸還の事に確定したり

◎米穀檢査改正

總督府にては米穀檢査規則改正の必要を認め目下商工課に於て立案中なり、遠からず成案を見關係各部局の意見を徵したる上總督の決裁を經て發布を見る可し

◎東郷司令官入京期

要港部司令官東郷中將は十六日入京長谷川總督に敬意を表し會社兩三日滯在の豫定なり

◎岡野長官消息

入京中なる岡野行政裁判所長官一行は十四日午前京城高等普通學校、同女子高等普通學校並に附屬幼稚園等參觀し午後は李王家陵墓を視察したり因に同長官は十六日午前八時三十分南大門發列車にて歸東の途に就くべく鵜澤參事官栗原廣太の兩氏は姑らく滯京する由

◎山縣少將愈乘船

十三日御用船にて釜山出帆歸東の途に上る筈なりし山形少將及び家族は同日玄海風波荒しかりしより十四日午後出帆歸途に就くとの電報ありたり

◎松寺檢事長入京

平壤覆審法院檢事長松寺竹雄氏は十四日午[illegible]

◎青木課長出張

商工課長青木戒三氏は十三日附を以て東京、神戸、大阪、奈良、新潟縣高田へ出張を命ぜられたり近く出發す可し

◎黑田侯令息入京

黑田侯爵令息黑田長禮氏は十四日午後九時入京朝鮮ホテルに投じ若干日滯在の上鶯島に關する研究に從事する筈

◎朝郵重役會議

朝鮮郵船會社にては株主總會召集のため十四日午後一時より原田社長吉田專務大池堀兩取締役松崎山口兩監査役等參集重役會議を開きたり

仁川

▲仁川有權者數　仁川學校組合議員選擧有權者數は九百六十五名なりと▲實生宗家追善會　仁川實生會にては十五日午後一時より仲町佛敎青年會館に於て實生宗家追善會を催ほす由番組は
▲素謠　土蜘蛛▲竹生島▲井筒▲羽衣▲善知鳥▲鞍馬天狗
(京城觀世流中村會員)▲鉢木▲[illegible]▲半蔀(平田令息)▲羽衣(石田夫人)▲熊野▲錦木(北島)▲船辨慶(木村)▲箙(積木)▲鶴龜　[illegible]尾崎伊藤齋藤足立尾崎若林

▲木原部長講演　今回來仁したる南島宣敎部長木原外七氏は十五日(日曜)朝十時より山手町日本メソヂスト敎會にて「四種の信者」夜八時「以心傳心」十六日午後二時婦人大會にて「婦人の價値ある生活」夜八時「人生觀」と題し講演會ある由來聽歡迎

人事消息

▲朝鮮外務課氏(朝鮮郵船一)十三日夕陸奥より歸京
▲大池忠助氏(朝郵專務)十四日朝入京巴城館へ

逐鹿夜話

▲土倉庄三郎氏(鎭東地方法院判事) 十四日朝入京
▲鷹田忠男氏(朝鮮郵船文書部長) 同上

▲埼玉縣第四區では長島隆二君も秋山輔君も名乘を揚げず折角出馬した福田辰五郎君は選擧違反で收監されて候補者不足となつたので大分スキが出來たが此處に掛くと云ふ處から志賀和多利と云ふ人が中立で飛び出し結局は討死の覺悟で大に引つ掻き廻して居るので卻て弱敵になり各候補者はオヤ〳〵

▲盛な選擧當日が切迫したので各政黨とも急行大車輪で援軍の連中は日の暮る迄かしさで飛んで出歸つて居るらしいが何と言つても無黨派で一番多く奔走して居るのは犬養と尾崎の兩君所謂南船北馬寧日なしの姿三月中旬以來殆んど每日平均三回以上の獅子吼に其の疲勞も一通りではないしかに怪舌奇舌である

▲新潟縣は西頸城郡で昔に名高い親不知の險を距る事三里ばかりの所に上路村と云ふ一寒村がある戶數は僅て四十餘下院議員選擧有權者は僅に四名此の村の前の總選擧には隣村の市振村と共同でやつたが七里の山路を歩ませるのも氣の毒と今度は獨立でやるのはよいが四名の有權者の中から選擧係長の村長と立會人三名を引き去ると有權者は一人もない夫でも御規則は動かせぬとあつて朝の六時から夕の七時迄投票所に空つぽの投票箱を前に置き四人が欠伸まじりに煙草をプカリ〳〵とは恐らく天下唯一等の平穩でもあろう

滿洲視察團名員簿
(申込順)

住所	職業	氏名
團長	子爵	趙重應
副團長	農工銀行長	白完爀
副團長	中央基督教青年會總務	尹致昊
▲第壹部(申込順)		
京城大和町三	廣江商主	廣江澤次郎
京城電氣會社	技手	大多和卓一
群山錦町	實業	平野嘉七郎
[illegible]	實業家	大塚宗三郎
[illegible]	書籍店	新井[illegible]之輔
[illegible]	官吏	日高[illegible]
[illegible]	金貸業	[illegible]
[illegible]	會社員	[illegible]
[illegible]	商業	[illegible]
[illegible]	花屋飲食店	[illegible]
[illegible]	自轉車商	[illegible]
[illegible]	自轉車商	[illegible]
釜山	金物商	佐野[illegible]
開城郡松都面	大地主	竹下[illegible]
開城郡松都面	開城人蔘組合長	朴宇鉉
[illegible]	會社員	林[illegible]
[illegible]	官吏	金[illegible]
[illegible]	農業	金[illegible]
[illegible]	米穀商	金[illegible]
[illegible]	農業	朱[illegible]
▲第貳部		
京城府茶屋町	朝鮮實業	高[illegible]
全南木浦府	全南道參事	韓[illegible]
京城府貫鐵洞	實業	韓[illegible]
京城府茶屋町	大正銀行取締役	芮宗錫
[illegible]	實業	閔[illegible]
[illegible]	商業	白[illegible]
[illegible]	實業	朴[illegible]
[illegible]	會社員	尹[illegible]
[illegible]	農業	金[illegible]
▲第參部		
京城府武橋町	商業	金東[illegible]
[illegible]	[illegible]	李[illegible]
[illegible]	[illegible]	李[illegible]
[illegible]	貿易商	朴[illegible]
[illegible]	[illegible]	洪[illegible]
[illegible]	實業	李[illegible]
[illegible]	官吏	鄭[illegible]
[illegible]	實業	任[illegible]
[illegible]	辯護士	崔[illegible]
[illegible]	實業家	鄭[illegible]
[illegible]	銀行員	宋[illegible]
平南[illegible]	[illegible]	張[illegible]
黃海道[illegible]	[illegible]	尹[illegible]
[illegible]	農業	金[illegible]
[illegible]	實業	李[illegible]
[illegible]	實業	金[illegible]
[illegible]	實業	元[illegible]
[illegible]	實業	金[illegible]
[illegible]	實業	吳[illegible]
[illegible]	醫師	李[illegible]
[illegible]	農業	高[illegible]
[illegible]	會社員	申[illegible]
[illegible]	實業家	安[illegible]
[illegible]	實業	王[illegible]
[illegible]	文廟員	金[illegible]
[illegible]	商業	洪[illegible]
[illegible]	鑛業	姜[illegible]
[illegible]	銀行員	李[illegible]
[illegible]	會社員	洪[illegible]
[illegible]	實業家	安[illegible]
[illegible]	[illegible]	金[illegible]
▲第四部		
江原道平康郡	農業	蔡翼升[illegible]
忠南論山郡	農業	金[illegible]
京畿道驪川郡	農業	尹[illegible]
京畿道[illegible]	實業家	李[illegible]
京畿道[illegible]	實業家	高[illegible]
水川郡新村面	農業	朴[illegible]
[illegible]	農業	鄭[illegible]
慶北安東郡	[illegible]	權[illegible]
大邱府三笠町	[illegible]	徐[illegible]
晉州郡晉州	實業	鄭[illegible]
釜山府草梁	農業	鄭[illegible]
釜山瀛洲洞	[illegible]	尹[illegible]
京城府昭格洞	[illegible]	黃[illegible]
京城府校洞	[illegible]	吳[illegible]
全北南原郡	農業	朴[illegible]
慶南密陽郡	農業	金[illegible]
元山府中里	[illegible]	李[illegible]
木浦府	實業家	朴[illegible]
全南南原郡	農業	朴[illegible]
全北南原調	農業	鄭[illegible]
全州完山町	農業	鄭[illegible]
全南寶城郡	農業	朴[illegible]
群山府九龍洞	商業	金[illegible]

滿洲視察團幹部

役	所屬	氏名
幹部長	京城日報社長	阿部充家
總務	每日申報社長	上田元三
庶務會計	京城日報記者	山崎武
通信接待	京城日報記者	別府八百吉
同上	社長秘書	金谷[illegible]
同上	每日申報記者	方台榮
接待	每日申報記者	崔[illegible]
通譯	同上	金[illegible]
同	京城日報社員	小塙太郎
寫眞班	京城日報社	朴[illegible]宗
醫師	朝鮮總督府醫院	貝塚新作
朝鮮鐵道局書記		窪田[illegible]三
朝鮮鐵道局雇員		

○米國艦隊出動せん

十三日華盛頓來電に曰く英國ブラウニング海軍中將佛國ドグラッス海軍中將は米國海軍卿ダニエル氏及び軍令部長ベンソン少將と米國海軍と聯合軍海軍との協同動作に關して會商したり傳ふる所に依れば米國艦隊は聯合國海軍に代りて南北亞米利加海軍の警備に服するならんと(紐育電報)

○獨非公式講和提議

コッペンハーゲンよりの報道に依れば、獨逸は再び講和を提議すべく米國に對しハウス大佐を西班牙に派遣し非公式に平和を協議せん事を要求せりとハウス大佐はウキルソン大統領の親友にして開戰以來ウ氏の旨を奉じて二回迄歐洲に航したる人なり(紐育電報)

○羅馬法王調停拒絕

羅馬法王廳よりの報に依れば墺國政府は法王に對し平和調停の運動を起さん事を懇請せるが法王は之を拒絕せんとす(倫敦電報)

○ヘーグ軍大捷公報

ヘーグ元帥の公報に曰く四月十二日我軍はヘニネル、ワンクールの諸村落と其の附近の敵防禦陣地とを襲擊しコヂュール河を攔斷して東岸の一高地を占領しヴキミー山脈の東方スカッペの北方に更に進出したり(倫敦電報)

○西部大會戰起らん

倫敦來電＝モーリス大將曰く今や西部戰場に於て開戰以來の大戰鬪將に起らんとしつゝあり獨軍は後備役軍を集中して西部戰場に於ける聯合軍に大攻擊を加ふる準備なれりと(紐育電報)

○露兵の專斷を處分

露國出征部隊の下士卒及び各兵士團は濫に將校を捕縛し專斷にて之を處分する事あり之等は司法上の諸手續を經たる後委員會の承認を得て其の命令書に基くを要す故に從來の如き傾向あらば之に對しては軍紀、秩序維持の爲め斷乎たる處分を爲すべしと(長春特電)

○支那海軍米艦抑留

上海駐在支那海軍司令官は支那海にある米國軍艦を抑留すべき命令に接し之が爲め目下同港に向け航海中なるサマアルーモーカシー、クキロス、ウキラロボスは同港著と共に抑留するベレウイルミントンは大修繕を要すべきも最短期限內に航海に堪へ得る樣修復の見込ありと支那は現在の所米國の主唱に從ひて同樣の行動に出づ可き意思なしと推察さる(上海特電)

○王次長退京

支那交通次長王龍焯氏一行は十四日午後九時三十分東京驛發臨時列車にて退京京都、奈良、大阪を順次觀光の後神戶より乘船歸國の豫定なり(東京特電)

□慰問使御差遣

朝鮮駐劄軍へ

畏き邊にては朝鮮駐劄各部隊並に鎭海灣、永興灣要塞及び海軍部隊軍情視察並に御慰問の爲め左通り侍從武官長差遣の御沙汰ありたり

侍從武官長　內山小二郎

朝鮮へ被差遣

猶同武官長は　聖旨を奉じ來る廿二日東京出發恩賜品携帶の上渡鮮の筈なり(東京特電)

○吉林督軍出京

吉林督軍孟恩遠氏は十三日午後六時長春著同十時三十分南滿鐵道にて北京に於ける軍事會議列席の爲め南下せり(長春特電)

○孟吉林督軍一行

孟吉林督軍一行三十一名は十四日朝奉天著直ちに北京に向へり(奉天特電)

●革命後の浦港

▲禁酒取締嚴重　最近某所に達せる浦港情報に依れば同地は禁酒令發布當時に在りては一般人民は眞面目に之を遵守し飲酒者皆無の有樣なりしが近時之を犯す者漸く多く街衢に醉漢を見受くることすら珍しからざるの狀況なりき、然るに革命後新政府に於ては頗に其の取締を嚴にし現行犯ならずと雖も飲酒の形跡を認めたるものは容赦なく之を處罰するの方針に出でし結果最近に於ては醉漢再び跡を絕たむとするに至れり

▲一般滯貨排泄　新政府成立以來同地の輸送力は非常に增大し三月下旬より續々貨車の回著あり四月六日の如きは八十臺の貨車來著し個人の滯貨物を一掃し去れり、此の狀態を以て推移せば滯貨の整理を見ること遠きにあらざる可し

▲沿海州鰊豐漁　沿海州は鰊の豐漁にて漁村は活氣橫溢せり、同魚は禁輸品なるも朝鮮等への輸出に就きては多少の手加減あるものゝ如し、又貿易品の輸入禁は依然勵行しつゝあれど同州に限り除外例を取り居れり、城津、淸津、元山よりは朝鮮人其他の勞働者續々浦へ溯しつゝあり

●東拓金融改制

東拓金融部にては最近貸出金利を引下げ又擔保

▲鑑定料規定に改正を加へ一口三千圓以上の融通に對しては鑑定料を徵せざる事に改めたるが右に付金融部當局の談によれば低利長期の農工資金融通は朝鮮斯業の發達を企圖するに缺ぐべからず殊に高利貸の資金が土地を擔保に貸附け居らるゝやうにては其の農業上の改良を見る事は百年河淸を待つに均し之等の憐れむべき債務者に對して東拓が確實なる資金を低利に可成手數を省きて融通し其の復活をなさしむる事は頗る必要事たり這回の金利引下げは亦右の意味も含まれ居れり而して金融の大勢にも鑑みたるものなれど三千圓以上の貸出しに對し鑑定料を徵せざる事に改めたるは(一)成るべく債務者の負擔を輕からしむる事(二)三千圓以下の小口は地方農銀の貸出しに讓る方適當にて東拓は

▲大口の貸附けを主とした事(三)鑑定料を債務者より徵するは本則として不可なり大要上述の理由に依りたるもの今後會社は努めて金利を引下げ農工資金の一般的普及を圖る考へなり尙ほ大口貸出しの鑑定料を廢したりとて不十分の擔保の十分なるやう申立て素見しのため申込みをなし來る者なきを保せず故に申込みを受けたる時は何れにせよ一應規定の鑑定料を徵し成立せし場合は返還し成立せざる場合には之れを受入るゝ事に改めたるなり云々

●阪地鮮米商況

大阪に於ける朝鮮產米穀類の商況を聞くに米は定期米の軟調なるに伴ひ市場至極沈靜なる有樣にて俗に謂ふ花見相場も實現するに至れり而も各產地共更に川端らざる結果付直に應じ手放す者なく却て必要筋を唱へ引付けらるゝ次第要するに此迄大したる變化もなく大持合を持續するならん大豆は時節柄格別の變化もなく普通物は僅に當用商內に過ぎず隨て直段等も依然持合の姿なるが唯だ割安と目ざされたる特大玉大豆のみ近來產地の出張により早くも思惑筋買顯れ破格の昇騰を見るに至り(了)

◎三井鐵礦採掘

三井物產にては成鏡北道富寧郡の鐵礦採掘に決し目下柴田技師を同地に派して諸般の準備中なるが本年中に五萬噸を採掘するの豫定なりと

□百濟の舊都へ蘇峯先生

德富本社監督は、令息と熊氏及び松岡氏同伴、當地觀光として十一日午後三時論山驛著、途中扶餘憲兵分隊長の出迎を受け、陸山里なる百濟當時の古墳など、多大の興味を以て遊覽、午後六時扶餘著、旅館扶餘館に投宿したるが是れより先き當地の官民有志者は交通不便の爲め、名士の足跡稀なる當地に、蘇峯先生を迎ふることを光榮とし、特に晩餐會を催して先生を招待す、會するもの數十名に達し、席定まるや寬岩里學校組合管理者杉甲一郎氏、一同を代表して先生歡迎の辭を述べ、次いで先生は答辭と共に平濟塔に關する所感を述べたるが、曰く、平濟塔は東洋に於ける有名なる古塔にして、指を屈する、必ず之を第一に擧げざるべからず、塔は唐の高宗將蘇定方が百濟を亡ぼせし記念物なり、李太白や杜甫の時代より古き時代に建設したるものにして、古きものなるが、今や此の塔に對し大和民族と密接の關係あることに想到して、無量の感懷湧出するを禁ずる能はず、而も塔は石造にして長久に言はず、塔に代りて一言せんとて、或は民族的に、或は藝術的に、細微に亙りて歷史的に說き去り說き來り、席上の人をして、其所說の深遠にして且つ秩序ある、初めて聞く卓說なり、と感激せしめたり。

因に一行は十三日午前七時扶餘出發、論山驛より湖南線に出り、京城へ引還す可し(十二日發岩里朝來生)

◎公普教員講習

公立普通學校內地人教員講習會は四月一日より三箇月間京城高等普通學校附屬普通學校に於て開催の事となれり、今回の講習科目は教育制度、教育方針、教授法、教科書取扱方、朝鮮語、農業、手工等なり

◎大阪品苦肉策

歐洲に於ける日本商品の惡評は業に屢々聞く處なるが就中大阪商品に對して全然一瞥をも與へず名古屋品は之れに次ぎ東京品最も信用あるを以て既に輸入せる大阪品は悉く東京品のマークを貼直し漸く在品を處分しつゝありと(長春)

◎清會線工事近況

清會線若坪古豐山間の鐵道工事は來月下旬の最難工事たる茂山嶺第七號隧道も既に日を以て略基礎工を終るべく中間の掘鑿を終り下水溝の開鑿又大半終了したるを以て煉瓦卷其他殘餘の工事を急げば來月下旬には引渡を了すべき見込みなるが此の第七號隧道工事は豫定よりも二箇月早く終了するの好成績を示せり而して軌條さへ豫定の期日に到著せば本年七月迄には古豐山まで軌道の延長を見るに至るべしと云ふが此間に使用の軌條七哩分は目下海外より近く到著の筈(清津)

◎平南徵稅好況

平南昨年度の諸稅は納期たる二月末既に約九割の徵收步合を示し其大部分を占むる地稅の如き實に九割九分四厘に達し其後今日迄に完納せる向も多く昨今既に殆んど完納に近き未曾有の好成績なるが一般財界の好調に依り本年度徵稅の前途亦樂觀し得べきものありと(平壤)

◎上旬鮮鐵成績

四月上旬の鮮鐵運輸成績は乘車人員二十萬二千四百人客車收入十五萬七千圓貨車收入十六萬五千圓にして一日平均收入三萬二千圓餘に上れり

◎郵貯利子計算

遞信局郵便貯金管理所にては大正五年度に於ける郵便貯金利子計算の爲め去る四日より所員多數を居殘らしめ益々事務を進めつゝあるが五月に入るべし尙ほ利子は三十數萬圓に上る見込の由

◎新學校組合設置

從來府當局の計畫中なりし成鏡南道甲山郡鎭東面銅店里及び大福里を區域とする銅店學校組合の設置は愈々今回許可せらる

◎納稅者に注意

府當局は今回府稅學校組合費其他諸種納稅者の便宜を圖り府廳及び龍山出張の外臨時來る六月十五日迄は京城銀行、鍾路消防詰所及び南陽地方金融組合內に其々府金庫員を派出すべきに就き各自便宜の場所へ納稅せらるべしと

◎地方費豫算認可

本年度平南地方費歲入出豫算は十三日附認可の指令に接せり、本年度豫算總額は三十八萬二千餘圓にして之れを前年度に比すれば八萬餘圓を增加せるも這は從來恩賜授產事業費は別途にせしを本年度より地方費に組入れたるに起因し前年度に於ては五萬餘圓の繰越ありしものが本年度に於ては僅に二萬圓に減せること屠獸稅の減少等一般歲入は著しく減せるも別に捻出の餘地なく然かも施設事項は今遽に緊縮を許さゞるのみならず時勢の進運に伴うて愈々益々多きを加へんとするの傾向あり、之れが緩急輕重を[illegible]にし勢ひ人員の淘汰を斷行して以つて辛く編成するを得たる次第なりと

◎山形少將へ記念品

今般滿期退職となり去る十二日出發歸東せし前總監部高等警察課長山形少將に對して京城官民合同送別會よりは記念品として仙臺火鉢一對書棚一架を贈る由

◎松永長官漣川視察

松永京畿道長官は富永書記を隨へ十四日午前九時自動車を驅りて長湍郡管內一般狀況視察の爲め出張同日午後七時過歸任せり

人事消息

▲原田侯合副　十四日夜入京朝鮮ホテルへ
▲荒木俊次郎氏(實業家)同上
▲兒島勇分氏(日本貿易取締役)同上
▲淺甫正巳氏(京都取引所社員)同上
▲松崎文六氏(大阪商船重役)同上天眞樓へ
▲西崎鶴太郎氏(鎭南浦商業會議所會頭)同上
諸尾へ
▲太田亥十二氏(橫濱貿易商)同上
▲岡野敬次郎氏(法學博士)十五日朝退京の筈

■南言北語■

ブラジルを始め南米諸國が突然獨逸に國交斷絕を宣したのはチト出し拔けの樣に思ふ人があるかも知れぬ▲イヤ伯國汽船ペラウア號が獨艇に擊沈せられたからだ▲其處でブラジルが怒ると鄰の面々も共怒をやつた樣にも見ゆるのは表面▲實際を調べて見ると却々其れッ許りの事でもない例の獨逸の奧の手が大分南米諸國に廻りかけたからだ三月中旬頃からアルゼンチンやチリー等に散在して居る獨逸人は頻に伯國に入り込み▲國內にある獨逸殖民部落で武裝を整へて何にか一と仕事を目論むで居た▲其れは獨逸一流の手段で南米を引つ掻き廻して騷擾に導き▲諸國から聯合側に農產物や其他を輸出する通商を妨害せんとする魂膽であつた▲其處で南米諸國が總立ちになつて此の始末▲獨逸を追つ拂ふ事になると米國同樣國內の獨逸汽船を皆拿捕した上に▲公然食糧を聯合側に供給するなど有形無形の利益は尠くはなからう▲伯國の武力としては陸軍が步兵十五箇聯隊騎兵十二箇聯隊砲工兵各五箇聯隊と外に二萬の憲兵がある▲海軍にはド級戰艦二隻と舊式戰艦二隻巡洋艦四隻があるから國內や沿岸を守るには先づ充分だ▲其處で聯合軍は先づ作戰筒拔けの獨探の巢窟を滅亡させて▲金は幾何でも米國から來るし食糧は南米諸國から來る▲サア斯うなれば愈々安心して最後の目的迄進二無二戰ふ事も出來る▲獨逸國內や勃牙利國內の餓鬼道の叫び次第々々に同盟側の滅亡衰弱を訴へる聲をも聞ゐる

回附錄『南北滿洲視察團記念號』四頁

祝滿洲視察團成功

滿洲の春は
沿線に漲り渡つて
居ます

行樂の
列車中の團欒に!!
食後の喫煙に!!

疲勞を慰し
元氣を旺盛にするは
芳薰優秀なる

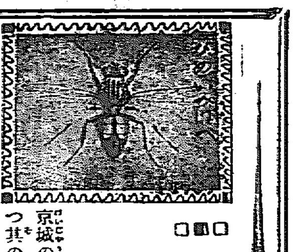
に限る

東亞煙草株式會社

蠅退治（五）

■蠅は肢よりも糞が恐い
■米國の蠅の居ない街

府衛生事務囑託 田中宇四郎氏談



京城の蠅はめい／＼各自の家で塵芥箱を完全にし且つ其の日／＼の塵を悉皆塵箱の裡に入れて貰へば著しく減る、何となれば塵芥箱に產みつけた■蠅の卵は 其の後一週間位で幼虫となり蛹となり親蠅となるから其の間にはわれ／＼が光熈門外で燒き捨てることとなる、それでこれからの時候に當つて蠅の莫大な■繁殖を防 ぐ爲めには是非共各自に於て塵の始末を完全にして頂きたい、塵や汚物が市中にころがつて居ることは非常に蠅の增殖を助けることとなる、現に先日も■京城市中 の露路から空家の隅まで探し集めた汚物は一日貨車三石に餘つた――これ等は各自に於て蠅を恐れる心があるならば何とか日常些細の物でも注意して頂きたいのである、由來蠅といふ奴は■植物性の 甘味を好むもので砂糖や菓子は無論非常な大好物、それに卵を產みつけるところは總菌（蛆）の發育に便利な腐敗した動植物の中を撰ぶのである、されば市中の料理屋、飲食店、蕎麥屋等の■塵箱は蠅 の爲めには屈竟な極樂、それに漬物屋の漬物粕など夏は夥しい蛆である、猶ほまた朝鮮で一番困るのは夏の眞瓜でこれにはいつも眞ッ黑な蠅がブン／＼とたかる、それで光熈門外の塵捨場ではこれ等の■特種な塵 は一定の場所に深い穴を穿ちその裡に入れて石灰汁をかけることにして居る、また各個人の家庭でも臺所の棚溜に蛆が湧き野菜の切ッ端に卵を產みつける、それに便所もなか／＼あぶない、また■世間では 蠅が他所から多く來るやうに思ふ人もあるが蠅の飛行力は餘り強大なものではない、移動は多く人や馬などで行はれる、現に昨年も大平町のパン屋に非常な蠅が居つたから其の■驅除法を 注意すると件の店では自分の家の蠅ではないといふ其處で臺所から塵芥箱を見ると其の下の土に夥しい蛆が居る、其處で私はクレシン液やアイゼル液をぶちまかせたところ其の後著しく減つた實例がある、猶ほ■今年から は京城府內の蠅退治費用が一千圓だけ減額されたこれは折角の蠅征伐に遺憾千萬であるけれども各自に於ても憎むべき蠅の征伐に注意して頂きたい次に警務總監部の技師原親雄氏曰く『私が先年釜山に於ける赤痢を■蠅の關係 を研究した結果は蠅がすべての傳染病毒を傳播するのは多く其の肢よりも糞によることが多いといふ事實である、その實例が傳染病患者に接する看護婦が度々病毒に感染したので■その徑路 をよく調べてみると直接蠅の肢で病菌を附けられたよりも炊事場で蠅の體內から排泄された病菌によることが多いのであつた……釜山の赤痢は殊に左右であつた』と、次に明治四十二年以來蠅退治を■主唱する 山縣セウルプレス社長曰く『京城府で一昨年から蠅退治を始めたので當地の外人は非常に感謝してゐます、新聞に蠅は虎よりも恐ろしいとあるが全く左右である、よし虎が京城の街に出たところで噛みつかれる者は一人か二人に過ぎぬが蠅の爲めには■何萬人こ いふ人が死ぬのである、現に米國のクリーブランド市では蠅を全滅せしめて蠅の無い街となつた、それで病氣も非常に減じたといふ事である、蠅の多きは市民の智識の低度を證明するもの京城でも盛んにやつて貰ひたい、猶ほ米國では小學校生徒に蠅征伐の動員をして居る』と（終り）

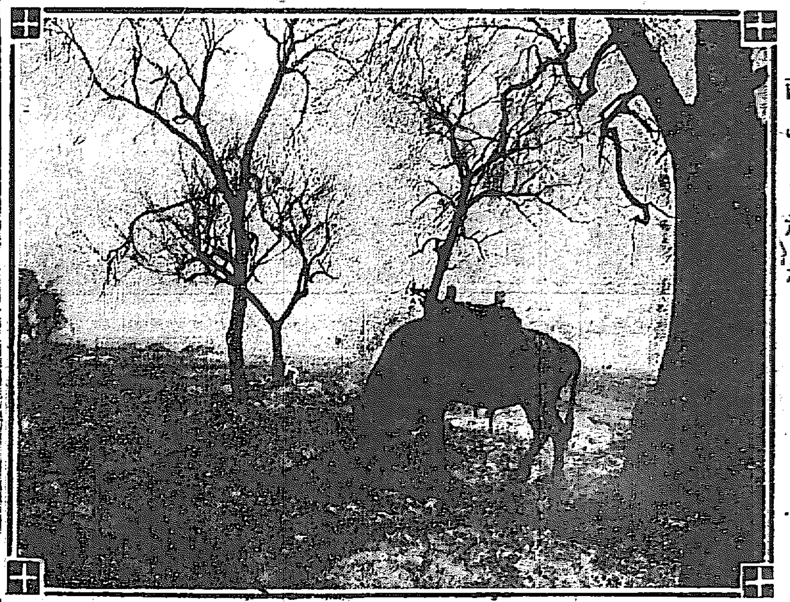
市街に公園道路、並木を植て

―奬忠壇から南山―南山からパコダ公園に至る道路の兩側に―

◇清雲洞庭園は朝鮮式を保存したい

將來の京城市街＝田村林學士談

今度自分が來鮮した目的は南山公園の設計と清雲洞の庭園計畫に在る由來景園即ち四園の風景や樹木山水等は▽直接間接に 其の住民乃至國民性に密接な關係のあるもので其の地の人情風俗が主として此の景園山水に由つて支配されてゐる事は云ふ迄も無い之れを想へば景園問題は決して等閑に附すべきものでない一體此の景園樹木等が人心に▽非常な沈著 を與へる事は何人も認むる所であつて此の見地より公園は申す迄もなく普く道路を利用するプールバールを作り度いのであるが此プールバール（佛語）と云ふのは公園道路とでも譯すべきもので奬忠壇から南山へ至る道路パコダ公園から南山へ至る道路等は▽市區改正の 際其の一部でも之をプールバールにする必要があるのである、所謂プールバールとは道路の中心に自動車道を設け一方を電車道とし其の兩側に散步道を作るので散步道の兩側には並木を植ゑ込み其間ベンチ、アーク燈等を置き其の外側の沿道が即ち忙しい人の▽實用向きの 通路をなす譯であるから疲れた時には並木の蔭や傍のベンチに憩ふ事も出來る即ち道路の中に細長い公園を形造ると云ふ事に成る此プールバールの主なる交叉點には噴水を中心として植込みアーク燈諸種の▽記念碑等を 建設して廣場の小公園を作らねばならぬ景福宮の廣場等に何等の企畫裝飾が無いのは寧ろ不思議である又近な漢江の水を京城に引き水道の水量を增して噴水の設備を多くすると云ふ事は京城の如き乾燥せる土地には是非▽必要な施設 と思ふ又一面此度小公園として設計した津田氏の清雲洞の如きは其の建物と云ひ周園と云ひ總て純粹なる朝鮮式庭園であるが此の朝鮮式庭園と云ふものが方今益々衰頽に歸し徒らにみすぼらしい洋風の庭園のみ流行するのは餘り悅ばしからぬ傾向だ元來朝鮮に▽風俗習慣に 伴ふて發達したる庭園は非常に價値のあるもので清雲洞に對しては飽く迄朝鮮式で押し通し度いと思つて居る只時代の進運と其の要求に應じて自動車道及び日本風の座敷を造り幾分日本風の洋式を加味する積りである徒らに洋風化し日本化する事なく純粹の▽朝鮮式庭園 を保存すると云ふことは自分等專門の學問上から見ても極めて有意義な事で此種純鮮式の庭園を有してゐる人々は須らく其の保存に努めらるべきだらうと思ふ



萌ゆる楊柳 ―十四日奬忠壇にて―

●自由を得た露國の下士卒

露國下士卒は公然劇場、活動寫眞、喫茶店等に出入の自由を許可せられたり（長春特電）

●臺灣の大疑獄

請負業者談合事件

臺灣阿猴廳の請負業者が入札に際し談合を行ひし事件に就き其筋にて檢擧を開始せし結果犯跡臺灣全島の土木請負業者に及べる事判明し大倉組、澤井組、鹿島組、立石組、久米組等を始め主なる土木請負業者は取調べに從ひ十數萬圓の談合金を取りたる事等漸々發見せられつゝあり實に臺灣始政以來の大疑獄なり（臺北特電）

●盛んな前景氣

平壤店員運動會

十五日平壤中學校々庭に於て開催する平壤實業青年會主催の店員運動會は前景氣盛んにして出場選手は實に五百を算し當日第一の呼物たるマラソン競爭加入者の如き百二十八名の大多數に達し實に未曾有の大盛況なれば店主の意氣込み素晴らしく醵金僅に千圓に上らんとし從つて賞品もマラソン一等十六七圓に相當する反物を始め卅等迄總て裝品競爭及び八百碼徒步五等迄其他は凡て三等迄にて賞品總數三百點以上なりと（平壤）

●艀舟沒沈して三名溺死

十四日午前濟州島山地港に入港したる朝鮮汽船公州丸より船客を移乘したる一隻の艀舟は風波の爲め沈沒し乘客三名溺死せり（濟州島特電）

●玄界洋波高し

連絡船の缺航

十二日以來北東の强風十三日に至るも衰へず波高きため釜山港內假泊中の高麗丸及び棧橋繫留中の對馬丸は出港せずさくら丸は同日午後八時三十分定時に出港せり翌十三日午後入港の壹岐丸は下の關出港を見合したる爲め缺航せり（釜山特電）

♣光州は櫻の花盛り

全南光州櫻の名所愛ヶ岡公園の櫻花は昨今の暖氣に迫れ既でに二三分綻び初め太神宮遙拜殿周圍のものは目下滿開にて十五日の日曜日は絕好の見頃なり市中にても道廳迎り法院庭園のものも次いで開花すべく今後旬日間光州の天地は爛熳たる櫻花世界と化さん（光州）

●今樣能樂師一行

今樣能樂師泉祐三郎氏一行は十四日朝入港の壹岐丸にて釜山着同十時三十分發列車にて京城に向へり（釜山特電）

●土木局員運動會

十五日午前九時より景福宮裏芝生に於て總督府土木局員約三百餘は春期大運動會を開催各種の餘興ある由

●悲慘なる獄中の生活

親獨派大官以下三十餘名の近狀

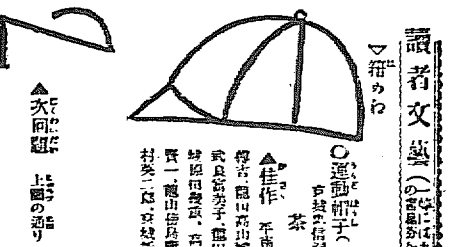
過次新政府の手に捕はれたる親獨派大官首相スチュルメル氏陸相サモリノフ氏外三十一名は露都光要塞內の監獄に拘禁せられ一日四十哥の給與を受けて外來者との會見は絕對に禁じられ昨日に變る悲慘なる生活を送り居れりと（長春特電）

●婦人を脅迫す

咸南德源郡府內面邑內常民楔行李製造趙坤文は去る三月二十日安邊郡瑞谷面水岩里の某酒幕にて朝鮮燒酎に醉ひ同日薄暮頃獨り歸宅の途中同郡同面球岩里居住車鍾熙の妻韓姓女に遇ひて同女を捉み小刀を出して脅迫したれば女は極力之れに抵抗し左手の拇指及び食指に切傷を負ひて辛くも逃れたる事を其筋にて探知し檢擧の上咸興地方法院合議裁判に付せり

讀者文藝（一等には五十錢の當選分を呈す）

▽帽ぬは



○運動帽子（一等） 京城本町通 茶目吉

▲佳作 平南价川郡鼎野吉、龍山高山武、鵝岩浦武良宮秀子、龍山色道、京城原田暮鐘、高陽郡笠井賢一、龍山佳烏麿、京城河村英二郎、京城若衣秋一

▲次回題 上圖の通り

○高田頴哉老師出張 朝鮮布教監督高田頴哉老師は十五日午前八時半南大門驛發列車にて群山錦江寺晋山式の爲め出張す

○人蔘ドロップス好評 市內明治町木村屋支店より賣出したる人蔘ドロップスは木村屋本店獨特の新發菓法により精製したる特製品にて朝鮮人蔘の精粹、越後飴、を主材料となし是に美味と滋養とを兼ねたる原料を加味したる理想的良菓子なれば發賣以來多大の好評を博し賣行盛んなりと

灯ともし頃

へ京中の馬場法制局參事官は中央官界に於ける新進の花形で、開れた敏腕家だ▲其の短軀で圓つこい身體、才氣縱橫の面構へ、精力旺盛の人と云ふ事は誰れにでもすぐ分るが▲何しろ其の關係せる官職を見ると一寸驚かさる▲氏は法制局でも勅任の主任參事官で好い加減忙しいのに行政裁判所評定官、帝室制度審議會委員をやり、其他調査會の委員とか幹事とか云ふ肩書が三つ四つでない▲其上私立中央大學の講義も受持つて東京に居ると睡すつぱら自宅に腰を据ゑてゐる事はないさうだ▲朝鮮には明治卅九年から四十年にかけて財產顧問をしてゐた事もある▲矢野通信課長や安藤參事や水野判事は氏の同窓ださうな

神社とお寺と教會

日曜學校午後七時より日曜講演あり ○メソヂスト教會（旭町二） 十五日午前 ○龍山日本基督教會（漢江通） 十五日午前 「は恩惠の時なり今は救の日なり」同初段

課題團體募集規定 ▲用紙は隨意又は

天氣 曇り

商況

債券現物特電（十四日東京午後着）

[illegible]	六三、五〇
[illegible]	六二、〇〇
[illegible]	一七六、〇〇
[illegible]	一一九、〇〇
[illegible]	一三八、五〇

公債直取引（東京）

九六、六〇

深川正米特電（十四日正米相場）

特別	八二、〇〇
五分	八一、二〇
四分	九六、四〇

東京期米特電（十四日引前場）

當限	二二、七三
中限	二二、七八
先限	一、七〇七

大阪株式（十四日前場）

	五月限
付	七一、〇〇
高値	七一、九〇
安値	七一、〇〇
止め	七一、七〇

銘柄	拂込	十三日前場
宇治川水	五〇、〇〇	―
京阪電鐵	五〇、〇〇	―
東洋紡績	五〇、〇〇	一九九、一〇
日郡紡績	五〇、〇〇	一六六、八〇
大阪紡績	五〇、〇〇	二二四、四〇
同上新株	五〇、〇〇	二二二、二〇
東洋精糖	五〇、〇〇	―
大阪商船	五〇、〇〇	七〇八、〇〇
日本郵船	五〇、〇〇	―
同上新株	五〇、〇〇	三八八、〇〇
京島米穀	五〇、〇〇	一〇〇、六〇
東京新株	二五、〇〇	―
大阪株式	五〇、〇〇	三三一、三〇

大阪三品特電（十三日後場）

	寄付	止め
四月限	九二、〇〇	九六、〇〇
五月限	九五、〇〇	九六、〇〇
六月限	八八、〇〇	八七、〇〇
七月限	八七、四〇	八七、五〇
八月限	八七、五〇	八七、五〇
九月限	八七、〇〇	八七、〇〇

大阪期米特電（十四日前場）

中限寄付	一六、六〇
中限寄付	一六、三九
九月限寄付	一六、八五

下關期米特電（十四日前場）

止め

雜報

●綿糸布依然强硬 綿糸現物入電は十六手百八十八圓十手百六十一圓にて前日より更に一圓乃至一圓五十錢高となれり

●綿布現物は晒シ六圓八十五錢九龍六圓八十七錢五厘と共に二錢五厘高を告げ本日も變らず六圓四十錢を持合へり

●石油五錢方値上 去年十二月來久しく保ち合へる石油は十四日十五錢方値上げせり從來影響を外油殊に最も困難の地位に立ちながら內地油其他との關係を顧慮して動かず最近本國高の報傳はりにも內地油價格に倣ける折とて兩者の協定成りしと運賃高の外に內外油が共通に衆むる騰勢にて石油は鮮內五圓五十六錢勝利五圓三十七錢及は函なし五圓十四錢なり

●鑛力の暴騰益甚し きものあり爲めに一般需要の不振なる折柄なるにも拘はらず遂に値上げに至りしもの

●鑛力暴騰す 一躍八圓方の暴騰 を演じ六十四圓と 通り大阪四圓高の入報ありし以上の値上がりを見し理由は前記

●精白更に引締む 正米益々强く買附又附旺なると共に精米地場卸値も共に引締まり最低十四圓八十錢 最高十五錢處 弱き商情なり

●スレートの市況 天然產竝人造スレートは本年度內地建築界の盛況と船舶新造の影響を受けて需用激增共に品拂底を告ぐるに到りしが今朝鮮に於ける昨年需用高は八萬枚スレート約十六萬枚天然產約七萬枚の多數に上りしに本年も天然產の如き近年增加しつゝありて昨年の賣上げの二倍を見越し居れり

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎 仁川海岸町三丁目 電話長三三七・三八八番

●値上後の麥酒戰 過日三社協定の麥酒同格發表せられしや價格の値上げをなせしかど各社非均衡居元にて依然割引取引に暗闘を續け居る廣告販賣競爭は更に激しく…試むるが如きもの…

●粗布續いて値上 綿布類は昨今の勢ひ騰勢せし如き成行きにて十二日に二圓上げを發表されし粗布は十三日更に二圓方を引上げ建値百八十四圓の發表を見たり四圓方の發表は小商人の持品は殆ど一掃仕盡されたり

●亞鉛線昂騰 亞鉛線は各番手共一卷一圓方騰貴し八番線の十九圓五十錢となれり人氣を集注せしによるなるべし

●亞鉛更に高報 亞鉛は益々高値に釣上げられんとする傾向あるもの如く十三日の大阪入電は平板更に十錢浪板十五錢高へ騰らし來れり多少上進 の兆ありし所へ此高報到りしなり

遅れの分ありし爲め今國の高報を一度に上げたるによるものなり

●植物油の近況 昨年騰貴後又八錢上三割高

期近物口切

仁川米豆取引所仲買人 三巳仲買店 電話二二一・一二二

京城正米

一割方下押

南大門の廻穀

仁川現物市場

釜山穀物（十三日）

生魚市場

京城魚市場 釜山水產市場（十三日）

仁川期米

▲十四前場 一節同事移 六錢高の入電 大阪四節八十七錢小堅移り

仁川米豆取引所

十四日の六月限

前場	
寄付	十三圓丁度
止め	十三圓丁度
高値	十三圓丁度
安値	十二圓九十六錢
出來高	二萬四千四百石

平均値段	
一節	十二圓九十八錢
二節	十二圓九十七錢
三節	十二圓九十九錢
四節	十二圓九十八錢
五節	十三圓丁度

賣買取組高	
四月限	二萬四千五百五十石
五月限	一萬四百五十石
六月限	一萬六千八百五十石

市場零聞

▲依然頭重し ▲新安値に崩れ ▲嫌氣の投げ退場 ▲押目待買物に支へ ▲前場の手振 ▲全能く賣る ▲能く買ふ ▲能く買ふ ▲臣の商內 ▲イの商內 ▲リの商內 ▲形勢非なり ▲鈍く更に新安値十二圓九 存外伸力 ▲手の關係は中限は特に仕

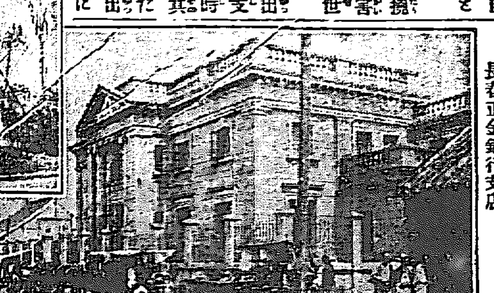
○東本願寺（南山町）　十四、五、六の三日間午前八時より三日試み執行す
○西本願寺（若草町）　十五日午前九時より
○聖公會（南米倉町）　十五日午前九時三十分聖餐式説教「主キリストの甦の意義」一色司祭　午後一時日曜學校　午後七時半晩禱傳道説教「今…」

●連絡船上陸客　十三日午前釜山入港さくら丸一二等客　一等（二名）佐賀先、英國人一名、二等（四十一名）井井亥一、嶺崎さく、小林きわ、同はる

●正金銀行の大陸發展
▽滿蒙經營開發上の金融機關の唯一

横濱正金銀行が明治三十三年以來自ら率先して滿蒙經營開發の急先鋒となり滿蒙殖産興業の振興日支對外貿易の隆昌に不撓不屈の努力を試み叢多の難關と迫害とに堪へて今日の發展を爲せるは世人のすでに知るところなり抑も正金銀行が滿洲の金融界に現出せしは去る明治三十三年一月營口支店の配設を以て第一着手となし同時に我國銀行の滿洲發展の嚆矢とす其後日露戰役開始せられ兵馬倥偬未だ血腥き三十七年七月現今の大連に出張所を設け三十八年七月之を支店に昇格し大連唯一の金融機關となれり斯くて金庫事務の外一般銀行業務を營み我軍の發行に係る巨額の軍票回收事務を熱掌し、兼ねて營口支店と兩々相俟つて著々其回收に從事し殆んど市場に其影を止めざるに至れり其後滿鐵會社の經營施設を見一方滿洲特産物の海外輸出貿易日に月に殷盛活況を見るに及び同行が對外爲替銀行として輸出入貿易業者の活動發展に對助する所尠からざるものあり其の後一般企業家の希望により同行は滿洲拓殖資金長期特貸の議あり政府は明治四十三年七月より同行をして三百萬圓の特種資金貸出事務を取扱はしめ繼いで之を五百萬圓迄に増額し爲めに滿洲各地に渉る金融は大に緩和せられ滿洲貿易の増進滿洲興産事業に裨益する所大なるものあり而も政府特貸資金の貸付けに對して一攫千金の迷夢に魅せられたる各種企業家を相手に何等の失態なく其責任を全ふし其他我對滿輸出品取扱上の便宜荷替に對する四分五厘の特典等其如何に同行が滿蒙の經營開發上努力しつゝあるかは吾人の稷説を須ひざるなり其れ斯の如く我國家的一大使命を有する横濱正金銀行の滿洲發展は偏に滿蒙に於ける我經濟的勢力の發展に外ならず而も此國家的大使命履行の任にある正金銀行滿洲各支店出張所を總轄し支配する井上大連支店長を首め各從業者の苦心や察すべきなり因に正金銀行大連支店を首め在滿各支店出張所並に分店の各支配人主任の人名を擧ぐれば左の如し

大連正金銀行支店



長春正金銀行支店

大連支店支店長　井上一男
旅順出張所主任　井上一男
同　主任代理　平田恒太郎
牛荘支店支配人　本郷榮
奉天支店支配人　伊東小三郎
遼陽出張所主任　伊東小三郎
同　主任代理　橋本龍八
鐵嶺出張所主任　武内和吉
開原派出所主任代理　絲井仙之助
長春出張所主任　森本啓太郎
公主嶺派出所主任代理　川村小三郎
安東縣出張所主任心得　平塚半次郎
頭道溝分店主任代理　篠田於菟雄
哈爾賓出張所主任　津山英吉

△長春出張所　長春出張所は明治四十年の開設にして輸出入貿易に對する資金の融通を主たる業務とす毎年特産物の出廻期に到れば其貸出高三百餘萬圓に達す附屬地には派出所ありて内外在留人の爲めに利便を圖れり前主任工藤金三郎は永年在勤せるが大正四年十月現森本主任と更迭したり

●滿洲製煙界を風靡
東亞煙草株式會社の活躍

英米トラストの大敵を向ふに廻して滿洲に於ける我製煙界の權威を示しつゝある東亞煙草株式會社出張所は營口に宏大なる製造所を建設して大藏省專賣局の各種官煙を始め口付、兩切、刻煙草を盛んに製造して一方滿洲に於ける同社の總販賣所は最初營口に置かれたのであつた

▲事業　逐年進展に伴ひ販路の便宜上大正三年六月之れを奉天に移したのであつた現所長は頭腦明瞭にして加ふるに販賣經營に大なる手腕を有する保々勉氏で氏によつて之れが統轄が圖られ南北滿洲の各地に散在する各出張所の區域を分擔鋭意販路の擴張に努力しつゝある滿洲に於ける同社製品の需要は年を經るに隨がつて非常の激増を示し同地方に於ける英米煙草其他の外國煙草製造を凌駕し滿洲及び南北支那より漸く之を

▲驅逐　せんとする傾向を呈するに至りたるが目下の如き大需要に對しては營口出張所に於ける製造率にては到底廣汎なる各市場の需要に應ずる事が能きないといふ理由から現今に於ては營口製造所には比較的需要の多い兩切煙草の製造にその全力を集中し口付煙草の供給は總て朝鮮製造所の

▲補充　に依ることにしたと共に同社の滿洲地方に對する營業狀態は益々有望になつた殊に長春、營口、大連等の出張所に於ては各出張所長を始め所員に於ては各分擔區域に於ける煩雜なる店務が敏捷確實に處理されつゝ行くは驚歎に價ひすべきものがある、斯くの如くにして南北滿洲に於ける東亞煙草の聲價が高められつゝあるのは國家のために喜ぶべき現象ではあるまいか

●田中合資會社
南洋及米支貿易

△田中商會は大連加賀町田中末雄の個人經營に係り先般其組織を變更し三十萬圓の合資會社を設立せり其の主なる取扱業務は海運業船舶代理業石炭販賣業倉庫業保險代理業の外更に貿買仲立業をも兼經せり

△社主田中末雄氏は擧て米國に在りて同地の事情に精通せる人目下米國方面にも大に驥足を延さんとしつゝあり

△また田中氏は疾に龍口及び青島に支店を設け數隻の汽船を有して主として大連芝罘龍口青島浦鹽各航路の運航に從事し其他一般社外船の荷客を取扱ひ數棟の倉庫を有し同事業の擴張をもなし來りしもの近來組織を變更すると同時に新に南洋航路開拓米支貿易の一大計畫とを有す

△猶ほ社主は多年南洋に志を有し先年上海より香港を經て彼地よりスマトラに航し馬來半島に渡りバタビヤセレベス、ボルネヲ等を經て親しく南洋諸島を踏破し將來大連對南洋各地航路を開拓し南洋各地の豐産の物資を蒐し大陸にて加工製造して之を支那全土に渉る需要を充し一方滿洲産出の石炭其他豆柏類の如き物資の南洋輸出をなし漸次彼我の經濟的關係を密接にせんとするの計畫あり

●大連信託會社

大連軍用地區第二號去る大正二年關東都督府は大連市地に集散する滿洲特産物の取引の圓滑增進を圖るの目的の下に大連重要物産取引所を設立した

△そして從來の商取引習慣に鑑み強制擔保の制を設け以て其取引の安全と活潑とを期し其賣買取引の履行を保し違約に依り生ずる損害を賠償せしむる機關として都督府の命令條件の下に資本金一百萬圓を以て大連取引所信託株式會社を設立せしめた

△初め此の會社は滿洲重要物産組合が先づこの設立を發起して大正二年五月十五日を以て株式を募集し相俟つて滿洲特産物取引の圓滿なるの爲來大連の官設取引所と兩々發達を助長しつゝある

△而して營業成績は非常な好況を呈し大正二年九月より大正三年八月末までの第二期に於ては已に純益六萬四千餘圓を擧げ株主配當一割二分、積立金一萬六千五百圓に達したのである

△また會社の第一回拂込株金二十五萬圓の内十五萬圓を營業保證金として郎時に供託せしめ更に資本の餘裕を以て重要物産取引所業者の金融を助けた斯くて漸次取引所業務の發展と共に同會社業務繁忙の域に達したのである

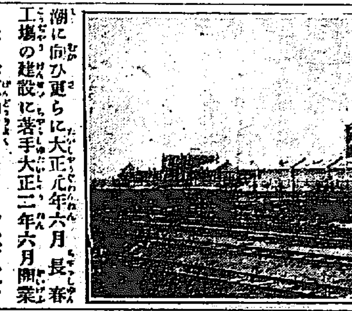
△因に同社重役並に主なる社員を擧ぐれば左の諸氏である專務取締役柴田虎太郎、常務取締役野津孝次郎、取締役相生由太郎遠藤裕太、邵學純、監査役長濱敞介、李升海、迫田彦助の諸氏にして重なる社員は支配人小澤新之輔庶務主任菅原省三

●南滿洲製糖株式會社
△甜菜製精糖の製造販賣

南滿洲の地は其地味氣候甜菜の栽培に最も多くの天惠に富む本社は甜菜精製糖の製造販賣を目的とする株式會社として大正五年十二月東京に於て創立總會を開き本店を東京に製糖場を奉天に支店又は出張所を便宜の地に設立するの決議をなせり同社は本年一月奉天新市街に創立事務所を置き同社橋本貞夫氏は専ら日支間に奔走して原料甜菜栽培方、會社工場の敷地購入等に從ひつゝあるが已に全く準備を整へて來る十月より營業開始の事となり居れり猶ほ同會社の内容を開くに資本金一千萬元の株式組織にして工場其他の敷地三萬五千坪は奉天新市街滿鐵附屬地に選定し四月より工事を起し汽罐室工場、倉庫、事務所等約三千餘坪の建築に着手し九月竣工十月一日より製糖を開始すべき豫定なり價格八十萬八千五百餘圓の諸機械は滿鐵工場、内地諸鐵工場に於て作製され製糖能力は一晝夜の菜根消費高七百噸なりまた原料たる甜菜の收得法は甜菜耕作者と賣買契約に由り甜菜を栽培せしむる事として支那人間に耕作の勸誘を試みし處支那官憲の此擧に對し大なる賛成を表して種々便宜を與へたると亦會社は作物に對して甜菜種子の料交付、耕作費の前貸等を行ひ且つ抽籤奬勵法を設けて誘導したるより奉天を中心とせる附近一帶より遼陽鐵嶺撫順附近及び安奉線陳谷の所々に二千五百町歩の栽培契約者を得たり而して本秋の原料收穫を一町歩四萬斤の豫定にて總計一億萬斤の原料を收穫し製糖の結果は約一千萬斤の精糖を得此生産費五十餘萬圓を要するも砂糖賣出しを一擔十圓とし優に四十餘萬圓の純益を舉得しされば今期に於ける一割以上の株主配當は差して困難に非らずと觀測されつゝあり今や日支親善の機運熟して彼我經濟提攜の實を舉ぐるに急なるの時に當り同社が此の事業を起し日支共同利益の促進に勉めつゝあるは支那の爲め大なる幸慶と謂はざる得ず而して其製糖業なるに於て西に有望なるを推して知る可し、世界に於ける砂糖の消費量を見るに一年一人當り英國の八十六斤に次で米の八十一斤なれど人口四億を有する支那にありては一人當り僅かに一斤にも過ぎざるの情態なりこれを以て見れば本社將來の發展も期して待つべく株券は最初發起人に於て全部を引受となりて一般の公募を爲さゞりしも三月より市場に賣出さるゝ事となりたれば同社の方針として共同利益の爲め該株の支那人間にも取得せられん事を希望しつゝあり、事業の進捗と共に益々人氣加はりつゝある同社は第一期の事業にして相當の成績を擧げたる曉に於ては同社株券の價額は非常の高騰を見るは明かなり

●有望な滿洲製粉株式會社
粘著力強く滿洲人の嗜好に適す

滿洲に於ける製粉會社は明治四十年の創立にして資本金一百萬圓の株式組織にして其總建坪一千九十餘坪原動力はボイラ二百二十馬力一箇年製造力六十五萬七千袋此に要する小麥原料百四萬六千石創立以來經營顯著に向ひ更らに大正元年六月長春工場の建設に著手大正二年六月開業したるが原動力はモートル二百五十馬力其製造力は一箇年九十八萬五百袋なるが原料は長春以北雙城堡以南の東清鐵道沿線地方より輸入する滿洲産を用ひ製品は紅龍及び黄龍の二種にて品質は色純白ならざるも粘著力強く却つて滿洲土人の嗜好に適し遼陽以南の各地は全く其勢力圏内の仕向地として販路日に擴張され北は露國製粉を驅逐し南は上海より輸入品に向ふて大奮鬪を試み活躍をなしあるは滿洲我製粉界の爲め大いに意を强ふするに足るものあり因に中井專務取締役は頗る精力旺盛の事務家にして各社員と共に煩雜なる事務を所理しつゝあり



長春製粉會社

●眞摯なる營業振
大連の松茂洋行

大連監部通りに營業所を有し異彩ある營業振りを博しつゝある松茂洋行は河邊勝氏の獨立經營にして店主は曾て明治三十五年營口に於て海運業を開始し越ねて三十九年四月業務の進展に伴ひ本店を大連に移し海運業の傍ら東洋海上保險及び大同生命保險會社の代理部を取扱ひ以て今日に至りたる人、猶ほ田中末雄氏と共に北滿輪船公司を創設し次で大連汽船株式會社を組織し去る大正四年二月迄其經營に從事し逐年業務頗る舉りつゝあり、而して同行は時勢の推移に從ひ常に向上發展を怠らず目下各汽船の代理業及び歐米南洋並びに内地に向つて滿洲特産物の輸送に從事してゐる因みに行主河邊氏は陜西省壁町に生れ明治二十六年東京高等商業卒業後一年志願として近衞步兵第二聯隊に入隊日露戰役に際し出征の功に依り從七位勳六等に叙せられ翌卅九年海外視察歸朝後今日に及べり、氏が銀行其他會社等に關係を有し其頻雜なる事務が敏捷確實に處理されて行く事は漫ろ行主經營の才が如何に卓絶して居るかを想見せしむるものがある

●滿洲水産株式會社

△滿洲水産界の唯一機關　滿洲水産株式會社は資本金十八萬圓にして明治四十一年一月組織され滿洲に於ける株式會社創設たりこれ滿洲に於ける水産事業の嚆矢となす

△爾來同會社は滿洲唯一の機關として專ら洲内漁業の進歩發達に資し滿洲水産界の先覺者として特種漁業の開發魚族の加工製造並に其販路の擴張、漁業資金の貸與、漁船漁具の保護、漁業者の保護、滿洲各地並に隊川達其他州内の水産界の爲め最も終始一貫植民地水産業の爲に盡くして同會社の手に據らざるなし而もの努力をなし其間幾多の苦心を嘗め犧牲を拂ひ事業日に月に其緒に就き以て今日に至り其營業成績の如き頗る佳良にして一箇年の賣上高約五六十萬圓内外に及び本店を大連市信濃町に置き旅順及び柳樹屯に各支店出張所を有す

△而して會社第十七回營業成績を見るに總株數三千六百株（一株五十圓拂込額一株二十二圓）株主數三十人にして同期利益金の分配金三萬五千六十一圓六十九錢株主配當金年一割一分に當れり會社は實に滿洲水産界の爲めに既往八年間に渉り最も堅實なる進歩を爲したるものなり

△因に同會社重役の人名を擧ぐれば專務取締役扁田顯四郎、取締役相生由太郎、監査役拓植忠夫、同高田友吉、同山口世基、旅順支店主任は踏野重次郎、柳樹屯出張所主任磯野萬丈の諸氏なり

●長春名古屋旅館

長春名古屋旅館は驛を距る南方三丁名代の高等旅館なり創業は明治四十四年資金二萬五千圓を投じ又大正二年金一萬五千圓を投じて增築したり大正五年六月金四萬圓を建築費に投じ増築に著手し昨今其大部分を終へ六月中其竣成を見るべし全建坪二百四十餘坪總二階造なり客間は階上に九室階下八室六十疊敷一室合計二百五十餘疊なり客間中貴賓室三室西洋應接間の設けありスチームを廻らし浴室二あり至る處清潔を旨とし女中も撰擇し居り本社主催の滿洲觀光團員百餘名を宿泊せしむるの設備成れり

四月十四日より開館

◇天活會社代表的作品
◇有名なる大寫眞

◈孫悟空 西遊記（全卅巻）
内四巻上場以下引續上場

◆西遊記は有名な唐の文士の作つた一種の譚で我天活會社が本年數萬圓を投じ今回完成せる自慢の大寫眞 然も專屬俳優澤村四郎五郎、市川延十郎一派は甲武信の山嶽を背景とし積雪を厭ず大撮影したる眞に是迄の寫眞とは氣味全く變つた寫眞であります
◆撮影の美觀は寫眞の技術とは思はれぬまでに夢のよう龍宮の花園に遊ぶ心地がします

お馴染の村田彦谷トンボ會一派出演
新派悲劇 春の辰巳（全三巻）
泰西活劇 金髪婦人（夜の女）

開館披露として本寫眞上場中朝鮮煙草會社特製「花扇」（定價十錢）を一二等客へ「初日」（定價五錢）を三等客へ各壹個宛差上候

天然色活動寫眞株式會社
京城釜山一手代理店
黄金館
電話 二三七六 六五二番

御披露

時下春暖の候大方諸彦益々御清適奉賀上候陳者不肖櫻田春曉曩に當地黄金館主任として各位に格別の御愛顧を蒙り候處突如天然色活動寫眞會社の命に依り餘儀なく昨年六月退京大阪千日前同社直營泰西物專門芦邊倶樂部主任罷在候處今回黄金館大改革に際し幸ひにも御當地皆樣の御懇望に依り再度赴任仕り候に付ては平素の御愛顧に報ふべく辯士數名選擇の上四月十四日開館と共に花々敷活動可致候間何卒倍舊の御愛顧賜り度此度御披露申上候

四月十二日

天活會社京釜一手代理店
黄金館辯士長 櫻田春曉

明君道中記

第百十五席　田邊南龍口演

大工與三郎はおいねの云ふ言を聞いて、與『成程今まで夢中で仕事をして居たが是はおいねさんお前さんの云ふ通り道へ上げさせた上に職人を殘らず殺すといふことに相違ない、けれども折角然う云つてくれるが、棟梁を始め兄弟分一同が何も知らずに居るだらう、此儘にするも氣の毒だ、一層是から歸つて皆に話しをして一同今夜脱出す樣にしたいものだ』い

も助けたいといふお前さんの心持も最ものことで、一旦立戻り何うぞ些とも早く戻つて來ておくんなさいまし、妾も支度をしてお前さんが歸つてお出になつたら直に此處を立退く樣にしますから』與『それでは然うしやうから、おいねさん支度をして待つてお在なさいよ』と與三郎も始め親が心配で來たのだがおいねの處へ寄つた爲め刻限も延びてしまひ、是れ

ね『それはお前さん迚もいけません、出入を嚴重にしてある處を何うして皆脱げられることが出來ませう、戻つて行けば取押へられて再び出ることは出來ませんから何うか此儘戻らない樣にして下さいまし』與『成程それは最もだが併し他の者は兎も角棟梁だけは助けたいものだ、七歳の時よりお世話になつて何うやら一人前の大工になつたのも皆棟梁のお影、それを思へば假令俺が命を捨ても棟梁だけは助けたいと思ふ、是から直に行つて話しをして九ツの巡りが來る前に脱け出れば、一旦出してくれたものだから喜三親分も出してくれやうと思ふ、此の道理を聞き分けて默しておくんなさい』いねは考へて居りましたが『成程一方ならぬ御恩になつた棟梁だけは何うして

大變だ今から母親の處へ歸つて居れば九ツ過ぎになる、仕方がない是は一旦歸つて棟梁に話しをして明日の晩にでも伴れて脱出し其時に母親にも會へやうからと兎に角今は歸つた方が宜いと思ひ其儘踰門へ歸つて來た、此方は腕の喜三が與三郎を出して遣つたやうなものゝ若し九ツの巡りが來るまでも歸つて來なければ俺の命が無くなると心配して居る處へ與三郎が歸つて來たので、喜三も喜び 喜『何うした與三郎、お前の歸りが遲いから甚麼に心配をしたか知れねえ』與『何うも濟みません、途々話しをして居る内に遲くなりまし

た未だ、九ツの巡りは參りませんか』喜『もう來るかも知れねえ決して油斷なく早く歸れ』與『有難うございます』それから矢來を踰て行うとするを恰當九ツの巡りが巡つて來て一統を呼んでしまつた後のこと、先づ棟梁宅兵衞を始め三吉、傳五郎、和助、文藏、安太郎、留吉なぞと皆の名前を呼び揚げ、與三郎、與三郎と呼ぶと返事が無い、中に居た者が氣が附いて見ると與三郎が居りません、返事をしなければ都合が惡いと思ふから宅兵衞が、宅『ヘエ』役『與三郎』宅『ヘエ』と代つて返事をしたものだから役人が行つてしまう、其時に川村は與三郎の返事が訝しいと思ひ、乃で皆一同立歸る跡に物貸は只一人矢來の此方に殘つて番燈を伏せて小さくなつて窺つて居る、處へ與三郎が矢來を踰しまする樣子、皆は何者か來たと思ふから物貸が怪と見るとてパッと與三郎の姿を見て又番燈を伏せてしまつた、與三郎は驚いたが其儘矢來を飛除し元出た口から普請小屋へ入つてしまつた、宅兵衞それに氣が付いて 宅『與三郎じやアねえか』與『ヘエ』宅『何うしたんだ』與『ヘエー何でございます、腹が痛いんで雪隱へ行きました』と聞いて宅兵衞が 宅『コレ與三、汝に聞きてえことがあるから此處へ來イ』と與三郎を呼び寄せました

五月幟　龜屋染工場
女仙染元祖考案者
[illegible]
京城本町二丁目

曆

四月十六日　九星　舊曆二月廿五日　戊子　本命一白　北的　友引

▲一白 萬事に狹まり閉口せんとす注意新事見合 [illegible] ▲二黑 何となく邪魔もの有 [illegible] ▲三碧 大望成らず [illegible] ▲四綠 [illegible] ▲五黃 [illegible] ▲六白 [illegible] ▲七赤 大願叶ふ日 [illegible] ▲八白 見かけだおしの事有日新事手控 [illegible] ▲九紫 [illegible] 女子は必ず美にたるべし

實用新案登錄　大正わらじ大發賣
普通のわらじの十倍つよくてはき心地能くていい能くて足が輕くて汽車の先き引決してじまんではない
一足見本を取りて御試みあるべし
一足五錢見本郵税共一足十錢
一括三百足入にして三百足以上一足付三錢●內地の汽車ある所は運賃當店持ち
實用新案　石輪製造　門司幸町八丁目振替七一二番
各國草鞋問屋 ㊁わらじや

無臭ヨードホルム膏　定價 五錢 拾錢
梅毒腫物ひぜん切傷火傷特効藥
本舗大阪東區[illegible]町 中井[illegible]製
[illegible]求の節は馬の商標に御注意あれ

演藝案內

有樂館 早川演藝部直營　電話二一〇番
大活色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店
▲有樂館の特別興行　四月十三日より特別寫眞提供
米國ユニヴァーサル會社藝術寫眞　ブリユーバアードフィルム特作品
▲大悲劇名婦「尼になるまで」
著作者…ルパートシユリンアン氏　脚色…オルガ、ブリンツカー氏
[illegible]
一小きん新太郎はかなき緣（全四卷）[illegible]
觀覽料普通料金にて御覽に入れ候

壽座 京城壽町　電話五七八番
四月十六日より十一日間午後五時開演
[illegible]

浪花館 明治町　電話二六〇番
▲女傑吉田奈良女　大阪興友派評議員
▲廣澤虎吉特別出演
[illegible]

大正館 櫻井町　電話八七三番
[illegible] チヤプリの散步（全二千呎）
[illegible]

壽館 京城壽町　電話一〇〇三番
[illegible]

有樂館の特別大興行!!!

信用ある有樂館の特別大興行!!!

花笑ふ春は野に都に錦のベールを覆ひました最大の努力と絕大の誠意とを以つて誇る有樂館が四月十三日よりの特別大提供に注目して下さい

米國ユニヴアサル會社藝術寫眞　ブリユーバアードフイルム特作品「特別權利附」

大悲劇 名婦の…………『尼になるまで』全五卷

著作者…ルパートシユリンアン氏
脚色…オルガ、ブリンツカー氏

泣くまじと思へど涙いや增る堅き操を一筋に振り分け髮の昔より許し許せし戀衣解くも哀れな哭の花散りて行く身は尼寺へ每ドよ來れ』の一曲に泣くまじと思へど涙いや增る幸いと薄き人の身をよふ亞米利加の名優が涙と共に演じたる絕無の大悲劇

說明者　薄田半曉
同　南鄉公利

大阪新日報連載多情多恨の物語
トンボ會一派總出演

—▲封切▼—
小きん新太郎 はかなき緣　全四卷
最近の當實劇を天活會社の名優が有松讀友の監督の許に撮き出したる大悲劇!

▲權威ある文藝寫眞と特種の日本劇とは當館の舞臺にのみ現はれます

◎當館御愛顧の御厚情に報ひん爲め特に普通料金にて御覽に入れ候

東京小林商會滿鮮一手代理店
東京小松商會滿鮮一手代理店
天然色活動株式會社滿鮮(京城釜山を除く)代理店
早川演藝部直營　有樂館　電話長二〇五番　五九七番

信用ある有樂館の特別大興行!!!

苦境から樂境へ　男のひみつ病
專賣特許　眞空療法
東京天眞堂病院長[illegible]
東京新療法研究所　大阪市北區[illegible]　大阪新療法研究所
生殖器[illegible]

わかもと(?)
ファーザーを使用ひあれ　一圓　京城黃金町三丁目　電話二九四九　山田文殊堂藥房
にて今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方は藥價六十錢

▲美味なる▼
虫下し最良藥
定價五錢●十錢●廿錢●五十錢

岩崎大海堂セメン菓子
美味なる▼虫下し最良藥
さんとにおくわー
登錄商標 岩崎大海堂 开猫篤尼洹菓子
大阪天王寺鳥居前角
本舗 岩崎大海堂
▲內外藥店にあり

主治効能
蛔虫諸症。疳の蟲蟲熱夜なきの蟲。乳あまし蟲腹いたみ。疝熱の蟲蟲胸あしく。勞熱の蟲蟲せき。驚風の蟲
近來粗惡なるにせもの續出す鳥居の商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ
▲廿錢の壹函三十二錢分入りで函入で體裁よく常用に御便利に妙です

ぢの薬
內用 清痔丸
外用 清痔劑
登錄商標
◎內用・外用・兩用・面白・効能効・[illegible]
本舖 名古屋市 [illegible]川長太郎
全國到る處の藥店に販賣す

進步せる國民には進步せる藥劑を要す　是が理想的なるは大學目藥也
大學目藥

小兒の友
登錄商標
舶來 人形印ミルク
母親の助け
CONDENSED MILK
MILKMAID BRAND
ANGLO-SWISS CONDENSED MILK Co.

私も つけました
床しき 金鶴香水を
そして是れから出掛けましょう

醇良清酒トテラ 腐敗ナコトバモ
※サハノツルヲ召上ッテ 意義ヲ生ジマス
特約店
京城本町一丁目 佐藤牧商店 電話二九番
龍山漢江通 佐藤牧支店 電話四二九番

化學的に皮膚を強く美しくする鶴の卵石鹸は而も價格低廉にして實用第一也
純良石鹸 鶴の卵
本舗 東京馬喰町 淺井支店
◎特約販賣店
京城南大門通り一 五福商店
同 明治町二 月本商店
釜山大廳町 明治屋商店
平壤大和町 廣島商店

（明治三十九年八月十日第三種郵便物認可）

京城日報　第三版

京城講壇
氣の科學的說明
醫學博士　芳賀榮次郎

世の中では良く浩然の氣を養ふとか、元氣の盛だとか、元氣旺盛だとか、言つて隨分氣の字を借りて言ひ表はされた一種抽象的な或る物がある。此の所謂氣と云ふ物は果して何を意味し何を指すものであらう。今科學的說明を試みると、由來身體には神經と云ふ實視し得る者が有て殆んど細胞の目の如く體內各所に分布され、動物のあらゆる感覺成發等は此の神經に依り腦中樞に傳達され、始めて知覺なり運動なりを起すものである。數年以前迄は一部の學者に由り此の敏活にして電氣の如き神經系の作用を以て所謂氣なる物を說明しつゝあつた。勿論世人の所謂、氣は其の一部此の神經作用を意味するものかも知れぬ。一方體內には所謂五臟六腑の諸器官があつて此の臟器の機能如外、且又何等神經系に交渉を持たぬ何か一種の物質があつて身體の機器の機能に與り此等の調節を計つて居る事が二、三十年以前から提唱されたのである。此の一種の物質其れは液體で分泌されると共に直ちに血管內に這入され血液に混入して身體を循りつゝ臟器各自の機能の調節を計るものである。之は直接實現し得ないものだが、恰度車等に油を注す樣なもので之が無ければ機能の調節と云ふ事は到底望まれないものだ。此の事實を一番よく見る事の出來るのは男女性の生殖器中に在る生殖腺に於てである。實驗に徴するに身體の發育不充分なる時代、即ち幼少の頃睾丸を切除すれば身體の發育に異調を來し、自然身體は細長く筋骨何となく柔弱となり、鬚髯等も無く喉佛も外見せられず優しい音聲を變じ、身心共に女性的に接近するに反し、女子の卵巢を去れば筋骨音聲性格等凡て男性的に接近するものである。之に由つて見れば男女性の筋骨音聲性格の別るゝ所以は一に此の生殖腺から內部に向つて分泌さるゝ液體が血液中に運ばされ男子に於ては男性的筋骨音聲性格に導くべく諸機能の調節を計り、女性に於ては之と反對の調節を計るが爲めである。即ち男女の別は生殖腺の機能に基因すると云はなければならない。即ち男氣女氣の別るゝ所以である。副腎――腎臟の側面には從來其の機能を認められなかつた副腎と云ふ物がある。此れは主に血管の擴縮を調節すべき液の分泌を爲してゐるもので恥かしい時に赤に成つたり恐ろしい時に青く成つたりするのは神經作用に因る血管の擴縮に外ならぬが其れ以外血管は晝夜の別なく終始擴縮しつゝあるもので、此れ等の調節は即ち副腎の分泌液の作用に因るのである。高峰博士の創製に係る『アドレナリン』と稱する藥液は此の副腎より採取された物で主に血管の收縮等を必要とする治療には注射用として使用さる化學的物質で已に人工に由り製出さるるに至つた之れ即ち臟器療法の端緒を爲すものである。

總て涙、鼻汁、唾液又は生殖腺に就て言へば精液精虫等を外分泌と稱するに反し內部に向つて分泌さるゝ此等の液を內分泌（ホルモーン）と稱する。元來エッキス光線は此種腺の組織機能を消滅する力を有つて居る故に腺病治療に此のX光線を利用する。往々同光線にあてられて自己の生殖腺の機能を失ひ其の外分泌精液中に精虫を認むる事が出來なくなる。但しX光線は腺の內分泌『ホルモーン』には何等の影響も與へる事が出來ない結果、其の外分泌精虫は根絶されても其の人の性欲には何等變動を與へない。即ち『ホルモーン』の存する所氣あり、と言ふのである。鮮人間には人蔘、鹿の袋角等の常用に由つて性欲を喚起する風習ありと傳聞するが、果して奏效するものとすれば此れは『ホルモーン』の作用を助長するもので、從つて諸機能の調節宜しきを得る結果、身體の強健、氣の旺盛となる譯であらうと思ふ。即ち『ホルモーン』の存在する所必ず氣ありである。

此のホルモーンは西暦千九百五年英人スターリング氏の命名にかゝり、體內に於て諸臟器の機能調節を司る化學的物質だと定義されるに至つたのである。此の所謂氣の元とも謂ふ可き『ホルモーン』叙上の生殖腺、或は副腎から分泌さるゝのみならず何又甲狀腺、松果腺、大腦の下垂體等からも分泌し體內諸臟器の機能を調節しつゝある事は已に明かな事實である。即ち甲狀腺は喉佛の側面に位し比較的幼時に大にして成長に及んでも殆んど膨大しない。往時に於ては此の腺の機能も分らず疾病等の爲めに一種の腫物の如く膨大せし場合は遠慮なく切り取つたものだ。甲狀腺を取り去れば矢張り人體に變化を來たし、精神遲鈍發育不充分等の結果を見る事實驗に依つて明な事である之を以て觀れば此の甲狀腺は身體の發育に密接な關係ある『ホルモーン』を分泌する機官なる事が分る。松果腺は大腦及び小腦の中間に在る小指頭大の腺である。之を除けば生殖腺の發育を早からしめ、早春にして性慾を覺ね、體軀も大きくなる結果を見る。即ち俗に言へば早熟すると云ふ事になるのである。次に大腦の下垂體は是れも腦中に在る小指頭大の腺であつて之を除去すれば生殖腺の他諸機官の發育を妨げ身體を成長せしめないと云ふ結果に陷る。之を以て觀れば松果腺と此の下垂體とは全く相反せる機能を有し人間の生理上是の『ホルモーン』相互に牽制して中庸の發育を爲さしめつゝあるものと云ふ事を知り得るのである。吾人の體內に於ても何中庸を維持するには相反せる二つの物の反對物をすると云ふ宇宙の大原則に支配されつゝある者である。

腹等では物に動せず落著いての事を爲す者が出來ると云ふが、之れも將來の研究に俟つ時は一種腹中のホルモーンに基因するのかも知れぬ。兎に角吾人の體中には前述以外に各所より此のホルモーンを分泌して各方面に機能を調節して居る事と信ずる。陽氣の發する所、一浩然の氣の湧く所、正氣の漲る所一として此のホルモーンの作用に基因せざるは無いのである。要するに古往今來、所謂氣なるものは直接外界にて實視し得る白い神經系の機能を意味する事もあらうが實視し得ざるホルモーンの作用を意味する事が多からうと思ふ。否寧ろ吾人の所謂氣は主として此のホルモーンに合致するものである。面白いではないか。而かも其の『ホルモーン』は一種の化學的物質なりと謂ふに至つては又大に首肯する所あるべしだ。

祝滿洲視察團成功

國産
サッポロ
アサヒ
ビール

祝滿洲視察團成功

南滿洲鐵道株式會社
撫順炭

三國商會代理店

開城 大和町 岡本商店
人蔘 水原 坂手重三郎
同　城內 中島政吉
平壤 石川耐藏
鎮南浦 朝鮮産業商會
清州 同
群山 木頭商店
木浦 小野商店
公州 高瀨商店

公州 高瀨卯作
風町 土車仁作
全州 同商店
江景 林龜助
小町 小宮山八郎
鐵原 松井商店
光州 松浦商店
長湍 渡邊商店

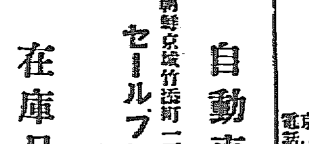
京城南大門通一丁目
三國商會
電話長九〇〇番 振替京城一八〇九番 西大門貯炭場

元山代理店
元山旭町 小泉商店 電話四五一番

平壤代理店
平壤本町 平松商會 電話長一六一番

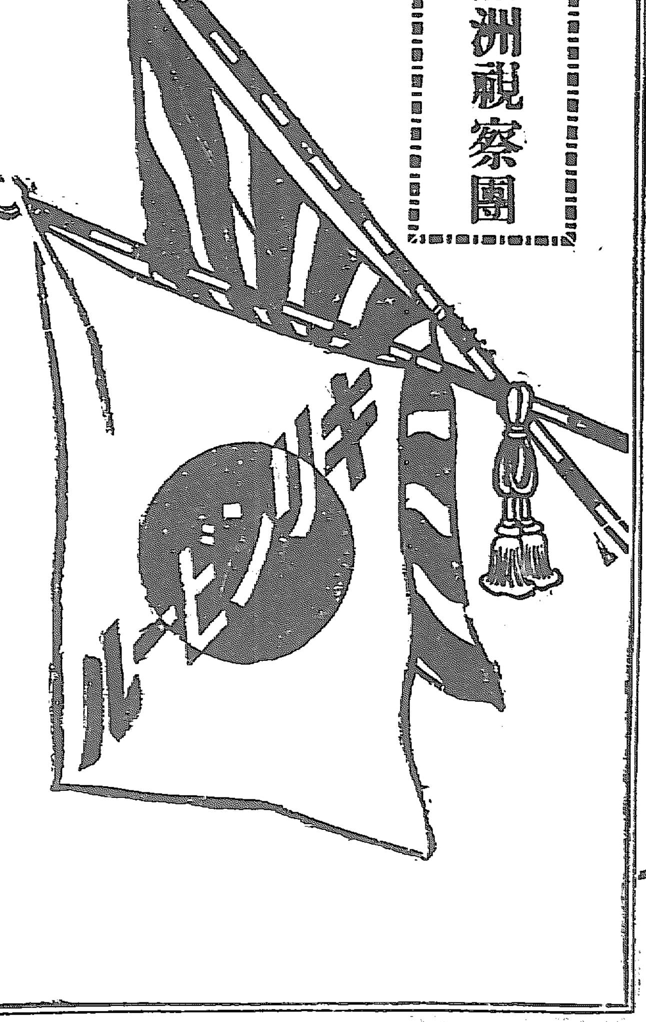
京城南大門通一丁目 西村商會 電話九二〇番

金剛飴と栗羊羹
本町二丁目 電話四七五番 二十七番
龜屋商店

祝滿洲視察團成功

自動車各種
朝鮮京城竹添町一丁目（西大門外）
セールフレザー株式會社
京城出張所
在庫品豊富

祝滿洲視察團成功
和洋紙販賣
活版石版各印刷
播本商店
京城永樂町二丁目
電話一一〇 振替京城二三〇

滿洲視察團と旅行用
安全剃刀
替刃一枚付特價八十錢郵税十二錢
熊平支店
長電話六二四番
振替京城二二二番

祝成功滿洲視察團


京城本町壹丁目
宮內省御用達
株式會社 明治屋京城支店

祝成功
滿洲視察團
京城電氣株式會社

祝滿洲視察團成功
京城黄金町一丁目
三井物産株式會社
京城支店
電話 二六〇、七二四〇、一一九

[illegible]して其利益を獨占せしむるを不可となし別に專門公司を組織して之れに當らしめんとし去る四日各商家を

[illegible]政府は支那茶の[illegible]を禁止し施駐英支那公使より抗議中なりしが今英政府の回答に據れば英國人民は從來支那茶に依賴する事深くして

[illegible]上の大部分を占むる故に[illegible]用運輸部の特權に據りて暫く支那茶及び錫蘭茶の輸入を制限する事とせりされば軍用運輸物噸數の減少する

[illegible]總統の命を受けて獨逸に留學中の[illegible]道般の斷交に由りて歸國せる者なるが去る十日北京青年會館に於て歡[illegible]

▲四十六年前 より已に戰爭を準備し開戰當時に於ける軍資金を積んで三千六百億麻克に達し優に十[illegible]製産額のみにては素より不足なるも佛、露、白に於ける各占領地にて暫く[illegible]農産物を掠し[illegible]て[illegible]の如き[illegible]得ず衣服新調の[illegible]せざる可からず若し二三箇月中に再び新衣服を調製する時は

▲觸れて斃死 [illegible]法を知らざる者誤りて之れを用ゆる時は直に[illegible]すべし[illegible]氏は是

模範とすべき苦學青年
釜山中學寄宿舎 生徒監督となる

釜山中學校の新入學生中には同校寄宿舎に入らん事を希望する者多きも從來寄宿舎は既に滿員にて新期希望者を收容する餘地なきため止むを得ず當分の間草梁停車場前の家屋を借受け

●假寄宿舎に 充用することゝなり本年入學生中二十餘名を入舎せしめたるに然るに彼等の多くは寄宿舎生活は始めてのことなり且つは年齡も少なければ之れが監督として上級生徒の中より品行方正の者を選拔して同舎せしむる事に決し選拔の結果在校四學年生徒入江傳（一七）を同假寄宿舎に同舎せしめしたるが同人は學力優等、操行方正殊に年少生徒を

●實弟の如く 慈み寄宿生一同も實兄の如く尊敬し成績甚だ良好なるより校長始め職員一同も大に安堵し居れり入江傳は福岡縣久留米市京町生れ當時忠清南道大田春日町に居住する入江衞の長男にして家には父母及び祖父と實姉の五人の家族あり同人は大正三年同校に入學以來同校寄宿舎に在りて通學し居れるが一年生の時

●僅かに一日 缺席せしのみにて滿三年餘の今日まで一度の遲刻せしこともさへなく學力は試驗毎に各課の點數八十點以上の良成績にて席次も四番より六番の間に在り性質は至つて活潑なれども輕躁の擧動なく殊に生徒間の評判も好く誠に感ずべき青年なるが此頃大田より來釜せし人の談に因れば同人の父衞は久しき以前渡鮮し來り

●相應の位地 に在りて安全の生計を立て居たりしに數年前より病に冒され以來生計困難となり衞の妻某は一家の生計を一身に引受け困難と戰ひつゝも長男傳を教育し家名の回復を計らんと健氣にも兩三年來より新聞配達となり晝間は附近病院に看護婦となつて僅かに女の手一つにて一家を支ふるのみか

●夫の藥餌に 加へて傳の學資を給與し居れるが傳も母の痛苦を察し毎年寒暑休學の中は大田の自宅に歸省すると即日よりは母親に代りて朝夕の新聞配達を引受け其他家計の爲め奮闘し居れり、廣田校長は同人の行爲に感じ夫れとなく學資の援助を爲すべく謀る所ありしも傳は身を節して母親の慈悲ある學資によりて勉學し志業を遂げんと堅き決心を明して辭退したれば其志操の堅固なるには職員一同も今更ら感歎し居れりと（釜山）

▼南北滿洲視察團愈十五日午前九時十分出發

●馬賊八百 露支國境に現はる

露支國境に於ける馬賊の跳梁は殆ど不斷の有樣なるが最近の狀況を聞くに三月中旬より東寧縣下に蜂起せる馬賊の內五十名縣城に入込みたりとの說傳なりしが去月十九日附該軍第二團長張振綱及び琿春縣知事警察署長張濟川は連名を以て告示を發して一般民に注意を促す所あり同日以來ペルツイと稱する露國な境附近に潜伏せる者にして昨年凶作のため財を得んとて蜂起し

▲同縣の富裕 なるを付込みて侵入せるが如し延吉縣局子街駐屯陸軍兵五十名は隊長指揮の下に三月二十六日百草溝宿泊同二十七日羅子溝方面に向ひ出發したるが右は目下羅子溝附近に出沒の賊徒討伐の爲なり首魁は王某と稱し麾下に多數の陸軍兵及び鮮人の居れるは事實にして騷劇官兵に擬し

▲精銳の兵器 を携帶し居れりと羅子溝地方は目下琿春地方より午後十一時より曉迄兵士巡警より成る五名乃至十名は

▲毎夜警戒に 努め燈火を所持せざる者は內外人の別なく誰何しつゝあり最近の流說に依れば琿春を中心とし附近に約八百名の馬賊混入し居り縣廳を襲擊すべしと傳ふ琿春縣に侵入せし八百名の馬賊は東寧縣も多數の軍隊出動し縣境地方の交通杜絕の狀態なり東寧縣附近に蜂起せる馬賊討伐の爲め出發せる支那軍隊は一先づ汪淸縣百草溝に集合し隊伍を整へ同地督隊官門根中之を指揮し三月上旬出發す人員將校以下約一百五十名なり風評に依れば該馬賊は多少政治的思想を有し現支那政府に反對し革命的色彩を有し老爺嶺山脈の

▲森林を根據 となし首魁は王陵と稱し部下約百名を率ひ從來東淸鐵道沿線に出沒し停車場部落等を襲ひ略奪を逞ふせる匪徒なりと

春風一路花の旅に
▽南北滿洲視察團の出發△

豫て待ち設けられし本社主催の南北滿洲視察團はいよ／＼本日十五日

◆午前九時十分 南大門發北上のもとなつた、京城はじめ全鮮の紳士一百名が春風一路の花の旅、山も河も歡喜に躍りつゝ迎ふるであらう、午前八時南山公園からは數發の烟火を合圖に團員の南大門驛勢揃ひを報ずる、此の間團員諸君は驛頭に

◆特別待合室に 集つて本社幹部並びに鐵道局員に手荷物を預けられる、猶ほ其の次の號報を合圖に汽車は晴やかに南大門驛を出發する、また此の日一行の出發を見送る人々には市內各會社商店の有志が彩旗を翳して行を壯んにせらるゝ筈、猶ほ朝鮮音樂隊の奏樂も一行の

◆芽出度き門出 を盛んにする筈、團員諸君は午前八時までに必ず南大門驛特別待合室に集合せらるべき事、團員諸君の一路平安なれ!!

♣職務に忠實な婦人の郵便集配人
各交戰國では盛んに採用する

今回の歐洲大戰亂に際し各交戰國の郵政廳で男子に代ふるに婦人を以てし或は郵便吏員とし或は集配人とするなど各種の

♣郵便事務に 從はせてゐるのを賞た非常らしく傳へらるゝが英國の郵便局では既に遠い以前から女子を郵便集配人に採用した類例が非常に多い、一二の面白い實例を擧げるとエリサベス、ヂツクソンと云ふ女はスコツトランドの田舍の郵便局の集配人で彼女は一千八百四十八年六十八歲の時其の職を止めたが在職三十四箇年中缺勤したのは僅々二週日に過ぎない程勤務成績良好であつた、そして彼女の

♣在職中配達 事務のため歩行した哩數は總計十二萬九千四百[illegible]彼女の

♣其の成績が 良好であつたから十九箇年は一日の配達行程十六七哩で晚年には一日平均八哩の行程を歩んだ 右の外に色々な面白い例もあるが之れは省かう、只驚すべきは英國の婦人は一般に頗る強健で上述のやうに老婦人と雖も集配事務の如き劇務に從び得ると云ふのは感ずべき事だと云つて好い、印度の集配事務の話にも一寸面白い話がある、印度の某地方に女子の一集配人があつた彼女は

♣二十餘年間 集配事務に從事したが、目に一丁字なきに拘はらず未だかつて一の事故すら起さなかつた、蓋し彼女は能く土地と住民とを熟知し、郵便吏員より此の書面は何某宛の者と指示された時は、其の指示の如く正當本人に郵便物を配達し得たと云ふ、此の女のやうに注意周到にして目に一丁字なきは不思議と申してよい、印度には多數の

♣婦人遞送人 があり十四哩位の行程には六十ポンドの郵便物を遞送するさうである、米國では米國市民で成年以上に達した以上は例令婦人でも郵便局長となれる事が出來るで婦人の郵便局長となれる者は決して珍らしくはない、されば一地方に郵便局長の缺員が出來る毎に婦人にして其の局長候補者となり猛烈の運動をなす者が少くない、之れ蓋し米國の郵便局長は各地の選出議員の推選により大統領から任命さるゝのであるから競爭運動が

♣常に烈しい のである、又婦人の局長と雖も局長に任命された時は一定額の保證金納附を要し且つ其の責任に就ては成年男子と何等異なる事がない、婦人の郵便局長、婦人の集配人の外電話交換手、窓口吏員、電信技術員、爲替貯金、事務員等婦人にして通信事務に從事する者は少なくない

♣英國の如き は婦人で貯金局の課長たり部長たる者も大分ある乃ち女子事務員の監督官として女子の課長を必要とするに至つたのである、日本でも郵費や其他の關係から郵便事務に女子を使用する範圍と數は今後漸次汎く又多くなつて行くであらう（遞信局通信課長大野義二郎氏談）

●一家鏖殺
加害者は支那人

十二日夜奉天新市街川本洋行（主人は滿鐵機關手勤務）主人、妻女、娘三人は賊の爲め慘殺され店員一名生命危篤なり犯人は元使用人支那ボーイにして十四日捕縛せられたり（奉天特電）

▲別報 奉天よりの來電に依れば奉天市街西一條樋物商川本洋行主人悅次郎（元名古屋市）夫妻、娘、及び店員の一家四名は十四日午前三時雇入の支那人と馬賊の爲めに鏖殺され金品を奪はれたり（大阪特電）

●失望の末義兄を斬殺す
▽無期懲役の宣告を ▽受けて控訴す

去る三月十六日黃海道載寧郡石灘里料理店にて殺人事件ありたる事は當時逸早く報道せしが加害者中西德一（二三）は其後海州地方法院にて無期懲役の宣告を受け不服控訴法院に控訴したり加害者中西德一は廣島縣沼隈郡神村生れにて四十二聯隊に入營中

▲脫營を企て 又は勤務を怠る等處罰を受けたる事數回あり兎角素行修らず昨年十二月十日其の實姉に當る被害者濱本仁市內緣の妻中西ふさ（三三）の私生子はつ（二）を連れて載寧に來り同家の厄介となり居る中本年一月頃より同家の抱へ藝妓花蝶事福田よしゑ（一七）と通じたるを居主の仁市に感付かれ其の不都合を叱責され三月六日德一は遂に同家を追ひ出され兼て二浦に到りて三菱の使用人夫を志願せしも病弱の爲め採用せられず詮方なしに再び前記の濱本方に歸りしも仁市は其の行ひを憎む事甚だしく同居を許さず

▲再び放逐し たるより失望の末仁市を殺害せんと決意し路傍の鮮人方の庭先に鎌の落ち居たるを見て之を拾ひ濱本方の裏口より室內に忍び入り中の模樣を窺へば仁市は燈火を點じたるまゝ姉のふさと姪のはつと三人枕を並べて熟睡し居たれば室內に有り合せたる鶴嘴を取りて仁市の前額を二回力任せに打ち碎き猶ほ携へたる鎌を頸に打ち込み足にて踏み付けて引つ掻き即死せしめたるが其の物音に目を覺まして妻のフサが騷ぎ出したるに驚き逃走して銀山面堂院里洪仁涉方に潜伏し居たる憲兵に捕はれたるなりと（平壤）

●炭坑の爆發
坑夫二名重傷

十三日夜福岡縣嘉穗郡熊田村なる熊田炭坑爆發し坑夫二名重傷を負へり（大阪特電）

●石川縣の大火

石川縣鳳至郡鵜比村字猿橋人間友吉方より十三日午後出火人家四十五戶馬小舍四十三棟土藏十五棟を燒失し即死者一名を出し牛馬三頭燒死せり（大阪特電）

●不正漁業者
續々檢擧さる

長崎縣南高來郡島原町生の紙永喜佐次郎（三八）紙永清九郎（三五）濱野文市（一九）松崎清市（一九）紙永岩太郎（三二）江島重（三六）荒木久造（三四）江島姬松（三六）松永末太郎（二八）の九名は共謀して三月十八日方漁船內に於て住所不明の內地人よりダイナマイト四十本雷管三十九尺導火線約一尺を不正漁業に供する目的を以て讓受け不正漁業の爲め出漁中三月十九日慶南東萊郡機張面竹城里沖に於て東萊警察署の手に檢擧され同月二十日檢事局に送致されたり又和歌山縣日高郡白崎村東山口滿右衞門（二二）長崎縣北松浦郡宇久島松本留造（三三）大分縣南海部郡西上浦村清田新太郎（二七）釜山幸町二丁目林源七方伊藤次郎吉（三二）の四名も同沖合に於て東萊署の手に檢擧され同二十日釜山檢事局に送致され同時にダイナマイト八箇雷管二十一箇導火線二尺五寸を押收されたり

◆市街の並木を傷けるな

京城にては昨年來南大門通り其他土木局京城出張所の手にて市區改正街路整理に著手し其の兩側なる人道には並木を植込み大に風致を添へたるに頃日黃金町一丁目自動車商會前の並木一本を根拔ぎ盜み去りたるものあり又南大門通り商業銀行前にては同樣三本を引き拔きて棄てあるを發見したるが大和町より總督府醫院通りにも多少の被害あり今後斯かる惡戲をなしたる者は其筋に於て最も嚴重に處罰すべしと

●火箸で眼を突く

大邱東本町に居住する鹿兒島縣人井出龍某の二男直（四）は去十日午前十時頃自宅の門先にて近處の友達二三人と共に嬉々として遊びに餘念なき折柄過つて地上に轉びしとき手に持ち居りし電線にて造りたる火箸を左眼に深く突き立て悲鳴を揚げたるより母親は大に驚き馳出で見れば右の有樣にて火箸は容易に拔けざれば突立てし儘で半狂亂の體にて慈惠醫院に連れ込みしが瞼と眼球との間を斜めに上部へ深さ一寸二三分突込みたるも眼球には故障なく幸ひに失明するに至らずと雖も或は腦に異狀を來すやも計られざる趣きにて即日より入院治療を受けつゝありと

◎妙心寺提唱 十五日午前九時より後藤瑞巖老師の大慈普覺禪師普の提唱あり

◎京城日本基督教會（長谷川町） 十五日午前九時日曜學校 同十時「教會の意義」井口牧師 午後八時「集會に於けるエス」同牧師

◎救世軍集會 四月十四日（土曜）午後七時四十五分本町百三十銀行前にて「商買人の耶蘇」一柳曹長 十五日（日曜）午後八時十五分永樂町二丁目屋內にて「男尊女卑論」石島大尉

小說 怒濤の月 本日休揭

祝視察團成功
京城義州通り
朝鮮煙草株式會社
電話長一八七番 電話一三七〇番

歡迎滿洲視察團
奉天新市街
高等旅館
瀋陽館
長電話二四番
振替口座大連三八一

歡迎滿洲視察團
奉天驛前
常盤館
電話三五九番

歡迎滿洲視察團
奉天十間房第二區警第七〇號
奉天信託株式會社
電話三七三番六五〇番
振替大連一三一八番

歡迎
店主 上田久衛
愛媛縣出身
奉天川城內小北門裡
雜貨文具商 上田〇商店
電話 日長二二 支三六〇番

歡迎滿洲視察團
日本生命保險株式會社
英國サン火災保險會社
豐國火災保險株式會社
徵兵保險株式會社
奉天代理店
奉天倉庫金融株式會社
電話三〇六番
振替口座大連一三二六番

祝視察團成功
ビールの眞味を解する方は
擧つて本品を愛飲せらる
サクラビール

印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

●滿洲に於ける

神戸の鈴木商店

△貿易界の巨擘、櫻麥酒と抽出油房

神戸鈴木商店の大連出張所は大連紀伊町に在る、出張所の開設は大正元年で、其の營業を貿易部、保險代理部並に船舶部に別ち貿易部にては主として綿絲布、砂糖、メリケン粉、サクラ麥酒の輸入、滿洲特産物の輸出を行ひ、保險部にてはサン火災保險及び神戸海上保險の代理業務を務し且つ船舶部にては南滿洲汽船に屬する汽船の業務を取扱ひつゝある

△また別に普蘭店にて製鹽及び鹽の販賣にも從事し開墾したる鹽田は五百餘町歩に達して居る、また大連寺兒溝所在鈴木油房は元滿鐵會社の創設に係り最も進歩發達せる獨逸ベンジン浸出式製造法に依る滿洲唯一の模範的工場として前途頗る有望なるものである

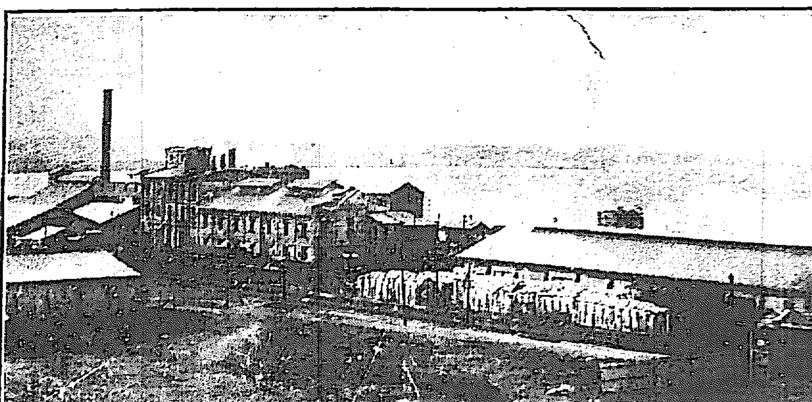
△抑も鈴木油房は去る大正三年滿鐵會社に於て滿洲油房事業の振興發展に資せんとの目的の下に滿鐵中央試驗所の研究を基礎とし其最も進歩せる獨逸ベンジン式機械を購入し之を据付け諸般の施設をなし飽く迄萬全を期せんとし規模左まで大ならざるに經費總額三十五萬圓を投じ以て經營し來りしもの其成績頗る良好なるを以て昨年七月の頃滿鐵會社に於て當初の目的に添ふべき相當なる企業家に拂下ぐる事となりこれを鈴木商店に於て滿鐵投資額三十五萬圓にて拂下げたものである

△其の後鈴木商店にては萬難を排し以て其經營に當るべき計劃の下に經費二十五萬圓を以て總ての規模を増大し爾來晝夜兼行増設工事に從事し機械の如きベンジン式に模倣し之に改良を加へ滿鐵砂河口工場にて製作中なり同機械据付の上は一日百噸乃至百五十噸の製造能力を有するに至るであらう

△鈴木商店にては同事業に就て將來多大の抱負を有し獨り本工場而巳ならず飽くも同事業經營に五百餘萬圓を投じ最も完全なる一大工場を創設すべく目下神戸海岸に其敷地埋築中なりといふ猶同商店は油取扱先として世界各國人士に認識せられ相當の商取引をなし來りしもの同工場製品の如き悉皆本店の手に據りて海外市場に輸出せられつゝあり兎に角ベンジン式油房事業は滿洲に於ける模範的事業として同事業の從進發達の上に多大の裨益あるを疑はない

△また鈴木商店の南北支那商ヲ總務としては濱田可稲氏あり、氏は高知縣の人同志社出身にして大正二年總務に就任し常に南北支那の間を往復して熱心に支那に於ける鈴木の事業を統督してゐる

△また大連油房の技師長としては織田工學士あり又鈴木の滿洲出張所長西川芳太郎君は年齒而立の青年紳士商出身にして其の奮闘的性行は鈴木の代表者として最も適任なりといふべし、斯くて支那に於ける鈴木の活動は年一年面目を一新し前途洋々たるものである



大連鈴木油房

●長春和登洋行

和登商行は明治四十年創業電氣用品、機械材料鐵工煉瓦製造建築材料一切、銃器火藥等を營業とせり昨年來材木部を新設し黑龍吉林産木材を販賣し四鄭鐵道用材八萬呎の納付を了し本年度に入りては更に大なる活躍を試むるもの如し店主は堅實なる方針を以て事業の發展に努力し日支の親善を事實に示しつゝあり性温厚にして信あり義あり殊に良く支那語に精通し且て日露の役に第四師團附通譯官として出征せり然して支那人の出入繁ろが如く如何に其信用を博しつゝあるやを知るに足る

●奉天勝弘農場

△新市街西一條（電五〇七）

滿洲に於ける水田の成功者は勝弘貞次郎氏である氏が他人に率先して滿洲の農場經營に着手したのは明治四十一年のと、滿鐵會社土地貸下規則に基き同年四月約十町歩の農地を借受けてからである、然し大豆、高粱、粟等の耕作は大失敗に了つたので氏は横山農學士等の斡旋を得て滿洲水田の有望なるに著眼し翌年内地農夫を招傭して各種試作を行ひ初めて其の水稻の發育良好にして林張りの程度充分なるを確め其年は霜害等の爲め豫定の好果を擧げ得ざりしも更に蒲河流域附近に在りて鮮人七八十名の水田從業者あるを知り同地公太堡子にあり鮮人を雇ひ入れ四十三年一町七反歩の水田を開拓し意外の好績を收めた、後ち同年札幌農科大學教授南博士滿洲視察の途次同農場を參觀し多大の嘱目を以て氏の苦心を激賞したるより四十四年は更に二十七町歩の新地を開拓して多數の鮮農を雇用し漸く滿洲水田の發展を昂め當路官憲の内地人士の注意を喚起せしめ、また明治四十五年未だ日支新條約の締結あらざる以前にも滿鐵會社の援助を仰ぎて大正元年には瀋陽、新民、法庫、鐵山の各縣に亘りて約六百餘町歩の權利を獲得した斯くして各所に農場を開設し水田適地には井水、電力ポンプ等の灌漑を用ひ又畑物を耕作して著々經營の歩を進め來り最近亦た彰武、洮南の地に一萬六千餘町歩の耕租を契約したのである、また氏は現今一反歩玄米二石以上の收穫を得つゝある

鮮米北滿貿易の率先者

株式會社多田商會

哈爾賓に於ける多田商會は資本金十萬圓全部拂込の株式會社にして社長は新義州實業界の巨擘多田榮吉氏なり氏は明治四十四年率先して朝鮮に於ける精米貿易を計り新義州に精米場を設置し專ら鮮米の輸出に從事しつゝありしも其當時に於ては未だ鮮米の聲價擧らず氏が苦心經營に努めたるも其の賣行き遲々として振はず啻に之のみならず多年根據を有したる安價粗悪なる支那米ラングン米上海サンゴ米等の爲め壓迫されんとするの有樣なりしを以て氏は斷然努力精米上に改良を加ふると共に多田精米の聲價好評を博するに至れり然るに一昨年來歐洲戰亂と共に外米輸入の杜絶と共に露國軍需米の注文に接し昨年の如きは貿易總額三百萬ルーブルを超過する好況を呈せり殊に同會社にして特筆すべきは專務取締役たる山安次郎氏にして氏は同貿易の一時失望に終らんとするや進んで哈爾賓出張を乞ひ爾來殆んど寢食を忘れて店務を執掌し本店員と協同一致自ら難極に立ち營業上思慮綿密只管斯業の發達を圖り今や多田商會の基礎益々鞏固確實今春株式會社とし資本金十萬圓全部拂込をなし社運隆々たるは如何に中山專務が經營の才か卓絶して居るかを想見せしむるに足るべし

●新進實業家、森上卯平氏

大連 森上卯平

△森上卯平氏は年齡漸く四十才、大連に於ける新進の壯年實業家として知らる、目下の取扱ひ商品は藥種反び綿糸の貿易業であるが近日更に綿糸布、石油、揮發油等の輸入販賣を爲し盛んに活動しつゝある

△氏は明治三十九年（二十七歳）の正月殆んど無一物にて大連に渡來し、解船料にも差支ふる許りの貧書生なりしが天性豪毅の氏は更に屈託せず粉骨碎身勇往邁進して各種の業の經營をなし明治四十一年奉天に行き、企業を試みたるも成績面白からず、大正元年十一月遂に失敗を招き、翌二年三月十三日再び大連に還り、僅に二百圓の資本を以て「富來洋行」を開いたものである、而してその當初には滿洲の釀造をなし、其年十一月には既に二萬圓の合資會社となし藥種及び綿絲布の貿易商を開業した

△斯くて大正四年度には貿易額百十萬圓、同五年度には三百萬圓に昇り天津に支店を設け、又大連伊勢町の支店は大山通元光明洋行跡の家屋を三萬圓にて買入れてこれに引移り伊勢町に盛んに綿絲布、石油、揮發油等の輸入販賣をなしつゝある

△また奉天支店は奉天停車場前、目抜きの場所に宏大なる敷地を買入れ大に北滿貿易に拉手を伸べんとしつゝある

△次にまた滿洲に於ける新麻袋輸入販賣の爲めには大連英國領事館よりの輸出許可證を受け原産地たる印度に向け大規模の取引を爲しつゝあり

△次に大連自動車馬車株式會社の創業も計畫中資本金三十萬圓（一株五十圓拂込）の中森上氏は其の一千株を引受けてゐる

△猶ほ又氏の事業は單に之のみならず九州諸早に於て炭鑛の試掘出願をなし、又一面滿洲特産の海外輸出に就て種々劃策を試み、其他大小の事業は之より漸く緒に就かんとする處なるが、現在使用の店員は日支人合計三十五名にして貸家も數十軒を所有してゐる

歡迎滿洲視察團
奉天停車場前
御旅館 一力旅館
電話長二一八番

歡迎滿洲視察團
長春新市街
運輸 貿易 商 石山商店
電話五一番 振替貯金口座大連一四六九
哈爾賓プリスタン哈爾賓出張所

歡迎滿洲視察團
專治 內外兩科及婦人科花柳病
入院隨意
長春新市街
華實醫院
電話百四番

歡迎滿洲視察團
陸軍諸官衙御用達 白米精酒醬油味噌 木炭精肉生牛賣買
長春新市街
關商會
電話三三番・振替大連四三八番
支店 東蒙古鄭家屯
同 公主嶺（電話五七番）

歡迎滿洲視察團
自働車應用撮影。自働車の備付あり 夜間撮影に應ず。最新式の技術
長春北門外
江藤寫眞館
電話取次六二番

歡迎滿洲視察團
土木建築請負 日本型赤煉瓦 支那型赤煉瓦 日本型洋根瓦 同藥燒付 製造
長春東十六區
工棟組
電話二四三番
東二道溝第一第二工場

歡迎滿洲視察團
朝鮮黄州名産林檎卸問屋 並に廣告的の小賣仕候
長春新市街市場
木村商店
電話五八四番 大連振替一七二五番

歡迎滿洲視察團
長春新市街
會席御料理 開花
電話一〇一番

歡迎滿洲視察團
書籍 文房具 楷樂器
長春新市街
商 竹島書店印刷部
電話四百〇五番・振替大連一三九二番

歡迎滿洲視察團
食料品雜貨
長春新市街
梶原洋行
電話二五五番

祝滿洲視察團
京城本町二丁目 株式會社第一銀行京城支店 電話長一二一番
京城本町一丁目 株式會社百三十銀行京城支店 電話長五八番
京城黄金町二丁目 株式會社十八銀行京城支店 電話長四二〇番
京城南大門通二丁目 株式會社漢湖農工銀行 電話長五二四番
京城南大門通一丁目 株式會社朝鮮商業銀行 電話五五八番
京城南大門通一丁目 株式會社韓一銀行 電話長一八九五番
京城南大門通一丁目 株式會社漢城銀行 電話長一八六一番
京城本町二丁目 株式會社京城銀行 電話四三一番

歡迎滿洲視察團
東洋生命保險株式會社長春代理店
酒井商店
電話四六四番

歡迎滿洲視察團
長春東斜街
食料 鑵頭 雜貨 日本大米 青物 和洋紙 文具類
林洋行
電話一六五番 振替大連三〇五番

歡迎滿洲視察團
統鞄 藥種 火藥 小賣 洋酒 卸 商
榮生洋行
高橋保治
電話四〇二番

法人登記公告
横城地方金融組合登記事項中出資ノ總口數四百六口出資ノ總額ヲ四百六圓ト變更ス
右大正六年四月拾日登記
京城地方法院原州支廳

○臨時船舶職員試驗
臨時船舶職員試驗左ノ通執行ス詳細ハ本月十四日ノ朝鮮總督府官報ニ告示アリ又ハ執行官廳ニ就テ承知スヘシ
大正六年四月
試驗期日 四月二十日 五月一日
朝鮮總督府遞信局
執行官廳 仁川海事出張所 鎭南浦海事出張所

新撰 春蒔種子
農藝具肥料 サンソー液
京城南大門通三丁目
戸田春藏
長電話三八六番 振替京城三七三番

寫眞
寫眞出張撮影 寫眞銅版亞鉛凸版
京城日報社寫眞製版部

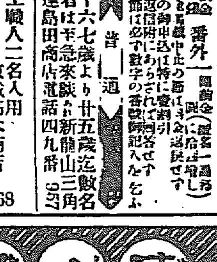
京日案內
普通一回金 番外一回金
△六號以上の御申込は特に割引
△御照會の節は必ず返信附にあらざれば御答せず
△御申込の際は必ず數字の番號御記入を乞ふ

●金銀細工職人二名入用 京城高木商店 968
●金融 官吏及商人の方大小共（秘密）迅速貸出し來談又は參上 壽町一丁目通り川田寺院入る角 柏 967
▼古本 古樂器買受は絶大の信用ある 電二五〇 本町ウツボヤ書店 振三三三 963
●店員入用 年齡二十歳位のもの信用ある希望者本人來談あれ 京城本町三丁目 マツヤ同部藥房 966
□店員入用 十六歳より二十歳まで 新龍山北車移前鈴本雜貨店 935
●古本熱心高價買入 ●非御試賣を乞ふ ▲本町二 ▲書肆群書堂 792
●賣地 南大門通二漢湖農工銀行降三十坪餘 京城電話一〇一二九番 喜多倉光堂 906
●賣未墾地 別莊果園向 四千餘坪 ●賣芝もあり 番外（姓名在社） 944
◎礦物定量分析 太平町二丁目 朝鮮公論社左横小路 坂元分析所 電話長一三四四 960
魔法瓶 及魔法瓶中瓶取替 京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番 787
恩給年金 期前立替 京城南大門外 山口屋 791
恩給年金 立替 西村商會 京城若草町通中央郵便ポスト前入 支店 京城永樂町一 商品陳列館前 勸業債券高價買受 電話三〇一一番 905
金石商會技術部 京城鍾路二丁目九番地 ▲礦物分析及礦山測量▼ 電話一八九九番 942

◎軍隊拂下被服類
毛布貨物の師供給に應ず 其他メリヤスシャツ サルマタ ズボン下
右昨年殘品多數大見切にて販賣可仕候
京城北米倉町電話千百十二番 メリヤス卸商 雜貨 村上商店

骨董競賣廣告
支那骨董商携帶品及宮地某家所藏日本支那朝鮮の珍器書畫等五百餘點を左の方法に依り競賣仕候條下見の日より御來臨被下度候
日時 四月十四日下見 四月十五日正午より競賣
場所 京城南山町一丁目 電話一一一五番 京城美術俱樂部

內外科 小兒科 花柳病科 入院隨意
京城長谷川町 安東病院 電話七三番



懐中清心丹 要藥
口中を清涼にし爽味を纏め咽喉を調ほし氣分を爽快ならしむ
暑氣、胸痛、頭痛、下痢 時疫アタリの豫防藥 飲食衰弱用せば胃腸を強にし消化を助け 食物中毒コレラ赤痢チブスの豫防となる
東京日本橋元大坂町 高木與兵衛

最新刊
書名 著者 定價
大正六年一月現在職員錄 總督府編 五五
鐵筋混凝土之設計及施工法 小川敬次郎 四、五〇
英語研究 教育學術研究會 一、〇〇
死の蔭に 德富健次郎 一、八〇
金柑學 近野眞治 三、〇〇
草書新辭典 帝國書道研究會 一、二〇
孵卵養鷄 長谷川幸成 七〇
ルツソオ懺悔錄 橋本秋村 一、二〇
一家與想の主人 岡村嘉之助 長田信明 八〇
食之物語 河上肇 九五
誓 柳川春之 一、二〇
禪のはらわた 菅原時保 八〇
裾野 佐藤紅綠 一、〇〇
小說生別死別 波多野光南 五〇
農村青年實用文範 篤實長 六〇
お伽花見車 巖谷小波 一、〇〇
最新英語商業書翰文 清永秀夫 六五
受驗必携朝鮮六法要論 安達大壽計 四〇
同朝鮮行政法規大意 正木谷 四〇
同會話譯文速成 同 四〇
同作文軌範 同 四〇
同法律問答 同坂上網吉 四〇
大阪屋號書店 京城本町一丁目 電話六○・二八六番 振替京城二五七三番

商況 大阪三品特電
▲休日越如何
十四日の六月限
後場 寄
四月限 一萬千八百五十石 五月限 一萬五百石 六月限 二萬百五十石
あるが目下同人は長春南關地に在り土匪を聯絡して蒙軍帥下に應援す可

京城日報附錄

滿洲視察團記念號

◎滿鐵の經營

盛大壯觀を極むる各事業
資本金二億圓の一大會社

二億圓の大資本を擁せる南滿洲鐵道會社は世界有數の大會社である、其の七百餘哩に上る鐵道の經營と沿線の地方行政と撫順其他の鑛業、香港上海、大連間の海運港灣の經營諸工場さては試驗所、電氣、瓦斯等其の經營は非常に複雜多端で龐大なものだ、殆んど國家の一機關なるもの如く滿洲開發てふ大責任を其の双肩に荷ひ巨然として南滿の天地に蟠踞して居る、使用人員は二萬餘人其の家族を合する時は恐らく在滿邦人の三四割強を占むるであらう、今同社經營事業中主要なるもの二三に付概略を記さう

◎盛んな鐵道 滿鐵が明治四十年四月政府より引繼ぎを受けた鐵道は

大連長春間本線	四三七哩五
旅順支線	二八、八
柳樹屯支線	三、六
營口支線	二三、四
撫順支線	九、七
煙臺支線	三八、九
安奉線	一八八、九

を滿鐵は引繼ぎを受けると共に全線を四呎八吋半の廣軌式に改築し且つ大連蘇家屯間二百三十八哩は之れを複線となすの計畫を立て所謂三線式により著々之れを實行してゐる、之等の工事の全部は明治四十四年十月末全部竣工したが其の工費には實に約四千餘萬圓を要した、唯柳樹屯支線は會社にて目下の所運轉の必要なしと認め休業してゐる、廣軌の改築以來旅客貨物の增加は實に驚く〳〵たるものがあつた、で會社は逐年車輛の增加を行なひ、最近の調査では機關車二百六十七輛客車二百十三輛貨車の總數は三千百八十六輛の多さに上つてゐる更に停車場の改築それから本線の急行列車運轉、鮮鐵を協定して鮮滿直通列車の創始、各鐵道との連絡運送、主要驛に於ける貨物の貯藏に必要なる倉庫の設備、北沙河口に於ける鐵道用品製作の大工場經營等各般の施設は著々として進捗したため其の大正四年度に於ける成績は乘車人員三百八十萬人貨物噸數五百九十萬噸二千四百萬圓と云ふ素晴しい數字を擧ぐるに至つた、以て如何に盛んなるかを窺び知る

◎上海香港の兩航路 滿鐵では廣軌列車の開通に伴ひ歐亞交通上の要衝を[illegible]

[illegible]

殆んど十哩に亘り渾河に向ひて平均約三十度の傾斜をなし其の斜距離は約一千間である、炭層の厚さは最薄七十八尺より最高二百八十尺以上に及び平均百三十尺で炭層中の夾雜物は厚さ二十尺を超へない、含有炭量は少なくも八億噸に上るの測算である、而して政府より炭坑の引繼ぎを受けたる時は總ての設備軍事の必要に出でた急造的のものだつたから一も永久使用に堪ゆるものなく一日僅かに三百六十噸の出炭をなすに過ぎなかつた、で會社は斯道に精通する故松田博士を炭礦長に任用し慎重之れが計畫實施に當らしめた結果千金寨楊柏堡老虎臺の三坑を合せ一日約四千噸の出炭力を有するに至つた、右の新會社は千金寨及び楊柏堡の深部に大堅坑を開鑿するの計畫を樹て施設を加へた結果千金寨のものを東郷坑と名づけ、大山坑は四十年十一月より又東郷坑は四十一年十一月より其の開掘を進めた、尤も大山坑は最近瓦斯爆發の事あり目下休坑中だが然も全坑一日の出炭力は實に六千噸を超へてゐるのである、元來撫順炭は漆黑で燃燒熾盛特色として灰分が少ないから各方面の需要に好適してゐる、從つて其の需要も夥しく滿洲各地の販賣高は社用炭を含み百十三萬噸各地への輸出炭七十五萬噸船舶焚料炭は二十三萬噸に上つた、而して大正四年度に於ける鑛業收入は一千三百萬圓で支出は約一千萬圓である、尚ほ煙臺炭坑は煙臺停車場の東北約十哩の地點で其間に鐵道の便あり炭田は東西約十三町南北約五十町に亙り、炭量約二千萬噸に上る見込みである、同坑は當初採鑛其他の準備工事を爲すに過ぎなかつたが四十三年度後半期初めより營業坑と爲し現今一日の出炭力は三百噸內外其の質や無煙炭で特種の需要があると云ふ事である

◎滿鐵の地方經營 滿鐵は又政府の命令書に依り一方に於て附屬地內に於ける敎育土木衞生等の施設をなすべき義務を負擔すると共に他方では其の費用を支辨する爲め政府の認可を受け附屬地內の居住者に對し手數料を徵收し其他必要の費用の分賦を爲す事を得るの權能を附與されてゐる、而して明治四十年會社の初めて地方經營に着手したる當時にあつては鐵道沿線の各地には居留民會なる自治團體があつた爲め會社は一時の便法として之れを地方機關たらしめたが同年十月全く之れを廢し其の出張所を置いて地方經理の任に當らした、其後大正四年十二月經理の出張所を遼陽奉天長春安東外三個所に會社係を改めて地方事務所とし各地の行政を管掌さしてゐる、現今地方事務所の置いてある所は瓦房店大石橋遼陽奉天鐵嶺、開原公主嶺、長春、本溪湖及び安東の十ヶ所で地方事務所の設置なき地方では驛長自身經理事務の一部を掌つてゐる何れ地方事業として會社の經營をしてゐるのは土地建物の貸附市街經營教育衞生事業であるが而して附屬地內公共事業の施設に屬するものは總べて會社の負擔で經常費は居住者の納附する公費を以て之に充て、其の不足の分は會社より補給する事となつてゐる、今大正四年度の公費收入を擧ぐれば二十三萬二千圓で補給金は其の二倍の四十七萬五千圓に達してゐる

◎興業費概算 滿鐵の經營は右の外港灣の修築經營があり各都市に於ける電氣瓦斯の營業があり旅館もある試驗所もあつて一々數ふるに遑なき程である、以上の各事業に對し大正三年度末迄に投下したる興業費は政府出資の一億圓を除く外大凡左の如くである（試驗所は地方營造物中に包含す）

鐵道	金七千四百十九萬圓
船舶	金五百五萬圓
工場	金六百四十二萬圓
港灣	金一千三百八十六萬圓
鑛山	金一千七百四十九萬圓
電氣	金五百三萬圓
瓦斯	金百四十三萬圓
旅館	金二百三萬圓
土地	金一千八十四萬圓
地方營造物	金四百五十四萬圓
諸建物	金一千百七十三萬圓
合計	一億五千二百六十一萬圓

◎滿洲の鮮銀

朝鮮に於ける中樞金融機關
支店の[illegible]

[illegible]

朝鮮の產業隆盛となるの時に待たざるべからずして之を近き將來に期すること能はず故に先づ同行は支店を輸出超過の滿洲に增設して銀行券の流通を計ると同時に其の輸出爲替を買入れ朝鮮に於て負ふ所の對外債務は滿洲に於て得たる對外債權に依り其の一部を償ふの手段を講ずること同行の經營上正に緊急の措置たるを認め大正二年中奉天、大連及び長春に各支店を開設したり、爾後我政府は滿蒙鐵道の敷設に付支那政府と協約を締結し南滿線の一驛たる四平街は洮南線の分起點となり將來有望の地なるを以て此處に出張所を設け次で滿洲產穀の集散地たる開原にも出張所を開き越て大正五年に至り較近發達の氣運に向ひし

△日露貿易に 鑑み彼我貿易の決濟に任じ兼て之が貿易の促進に努むるの必要を認めたれば北方貿易に其の歩を進め又西方に於ても山東並に南支那方面と相呼應すべき營口に其の基點を定め更に最近には及び東滿洲裏面の開發を把握する爲め間島龍井村にも出張所を開設することゝし近く吉林支店も開くべく以て倍々之れが擴充發展に資する處あり如斯して今や南北滿洲の中樞並に四通の重要地には其布置殆ど缺ぐるなく並に羽翼漸く張り將に飛翔の機に際會せるを覺ゆ今在滿各店を左に列記すべし

大連支店	大正二年八月二十日設立
營口支店	大正五年九月十五日開
安東縣支店	明治四十二年十一月廿四日開
奉天支店	大正二年七月十五日開
四平街出張所	大正三年二月十四日開
長春支店	大正二年九月五日開
哈爾賓支店	大正五年七月十五日開
開原出張所	大正五年十一月一日開

朝鮮銀行の滿洲に展進せる因由及び其の經營の現狀は既に述べたるが如し茲に進んで之が實際の活動狀態を稽査せんに其の設立は何れも日淺きに拘はらず著しき進境を呈し最近左表の如き實勢を示したり

店名	預金	貸出金	外國爲替	
大連支店	四、六〇二、四五三	六、四九五、五八〇	五、七二五、〇九〇	七、八二〇、四三四
營口出張所	一、一五二、九七	三六三、二五二	一五、六二五	一六、二六三
安東縣支店	三六二、〇七二	八七五、一五七	一	一
奉天支店	一、五八三、四二六	三、八四二、二六一	一	一
開原出張所	五六、〇三六	八一四、九五〇	一	一
四平街出張所	一〇四、五七三	四四五、六四〇	一	一
長春支店	九六七、四一九	一、五八二、〇四四	七八、一二五	七八、〇九八
哈爾賓支店	一、二六六、〇三七	八一二、一一三	八五三、三六八	三、〇五五、一三〇
計	九、一〇七、三一六	一五、五三一、〇〇〇	六、六七二、二〇九	一〇、五六九、九二七

備考 預金貸出は共に大正五年十二月末現在にして外國爲替は大正五年下半期中の取扱高なり

以上に依り預金は九百萬圓を超へ同行總預金高の三割弱を占め貸出金の如きは一千五百五十三萬圓以上となり同じく總貸出高に對し二割五分強を示し現在滿洲以外の同行本支店を顧みたる營業所數十七に對して既に斯く如き地歩を占得するの盛況なるは洵に旺なりと云ふべし而も此等は普通業務に屬し滿洲各店營業務の特色とする處は自ら他に存せり以下之を概述せむ

△爲替業務 元と滿洲に支店を設置したる目的は朝鮮及び滿洲間の貿易を圓滑にし其の經濟關係の密接を圖り且同地に於て輸出爲替を購入して朝鮮に於ける貿易の逆潮を調節するに在りて其輸出爲替の買入高は大正三年中に於て八百三十六萬圓なりしもの大正四年には一千五百零三萬圓となり大正五年に至り遂に一千六百六十九萬圓を算し漸次良好の成績を示しつゝあり又外國爲替の昨年中に於ける賣高は六百六十七萬圓にして其の買高一千九十六萬圓を示し共に貿易の促進に貢献する處大なりしを知るべし

△通貨の調整 由來滿洲の地[illegible]

來工業方面の開拓せらるゝもの多大なるべく倘鑛業上の遺利も大に興起せらるゝものあるのみならず一面現在に於ても進んで世界各地の主なる銀行と代理契約を締結して一層內外重要市場との聯絡を圖りつゝあるを以て同行の前途は洋々たるものあり

◎大字形を作す 朝鮮鐵道

營業哩數一千百哩 使用人員約一萬人

◎膨脹せる鮮鐵◎

朝鮮鐵道は臨時軍用鐵道監部に屬せし京義線京釜鐵道株式會社に屬せし京釜線統監府鐵道管理局の統一する所となり、又一時鐵道院の所管に移り總督府設置と共に現在の鐵道局の經營する所となれり。之より着々其の歩を進め大正三年一月には湖南線同年八月には京元線俱に全線の營業を開始し大正五年末期には咸鏡線の一部元山永興間、清津會寧間の開通を見るに至れり、現在營業哩[illegible]

て利用增加の趨勢を示せし、業務の範圍は一般倉庫業を營む所なし、此鐵道運送に關係ある貨物に對して特に倉庫證券の便法を設け大連外二十二驛に於て之れを營業す。旅館は專ら洋式に依り釜山京城新義州、平壤並に夏季中に限り金剛山溫井里に於て營業す之れ一般旅客の便宜の爲め企圖されたる施設にして設備の完整と料金の低廉とを以て頗る好評を博す。急行列車に於ける食堂車並に南大門驛に於ける喫茶店等も亦鐵道の直營に係れり

◎營林廠の 製材事業

無限の大森林…努力しつゝある造林…廢物利用

營林廠の事業は明治四十年創設以來累年發達を示し居れるが齋藤現廠長の山林課長より出でゝ其任に當るや鋭意諸般の改善整理を行な[illegible]良ならしめ木材の價格を引下げ大口取引の制度を設くる等著々多年の緒計を披瀝應用して事業の經營を進むるため成績益々良好にして大正四年には十七萬七千圓大正五年度には約三十七萬圓の益金を計上するに至れり、今營林廠現況中二三の特色を摘示すべし

▽無盡藏の材積 其の經營に係る鴨綠江豆滿江兩流域の大森林は二百有餘萬町歩を超ね秋田青森木曾の三大森林を併せたるものに比するも尚ほ遙かに大なり、而して樹種別材積が幾千に達するかは何分廣大の面積なる爲め調査至難なりしが最近の調査によれば紅松杉松落葉松等の針葉樹に屬するもの十一億九千萬尺締又闊葉樹一億七千萬尺締合計十三億六千萬尺締の驚ろくべき巨額に達し從來四億五千萬尺締內外に過ぎざるべしと稱せられしに比すれば實に三倍以上の增加を示せり

又針葉樹の材料として最も有望なる紅松は鴨綠江流域に於ける蓄積のみにても無慮四億二千六百萬尺締に達するを以て假に百二十年を以て輪伐するものとせば年伐材積約三百二十一萬尺締の豐富なるを知るべく

又兩江流域の針葉樹の蓄積は前記の如く十二億萬尺〆なるを以て假に百廿年を以て輪伐するものとせば永久每年一千萬尺〆を伐採し得るを知るべく之れを換言すれば現在製材林の十倍を使用して五百年以上伐採し得[illegible]

[illegible]廠長より職工定夫に至る迄會員とし最初一時同胞會員に關する諸給をなし右除れば茶菓又は汁粉料等を供し上下の區別なく和樂することとす（二）其他一二の會員同の大親睦會を催すことあり（其他）

□貯金部の事業 貯金部に於ては會員の貯蓄を獎勵する爲月收額百分の三以上の貯金をなさしめ右貯金は各自の名義を以て特別當座預金とす

□購買部の事業 購買部に於ては職工及び下級役員の生計を助くる爲米味噌其の他の日常必需品を大口に購入し賣捌き小賣相場より若干廉く販賣し每年六月及び十二月に決算をなし利益金は各自の購買額に應じ拂戻すること

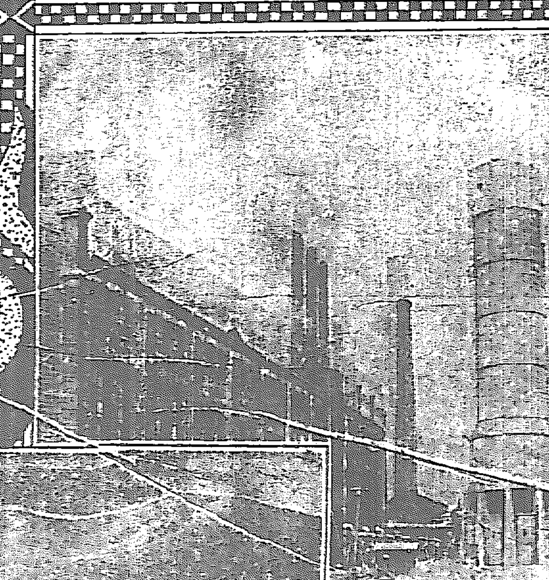
◎本溪湖の 煤鐵公司

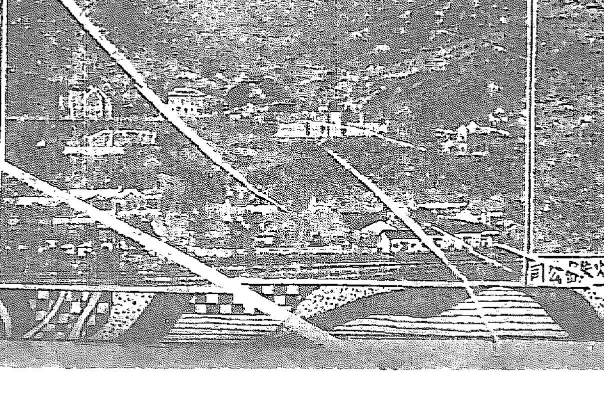
模範的の日支合辦にて經營されつゝある製鐵事業

安奉線の汽車に搭乘して往來する者は何人も本溪湖驛附近の東北方に壯大を極めし巍々乎たる數棟の建物と盛んなる工場の活動を望見すべし之れ日支合辦に成る本溪湖煤鐵公司の製鐵事業なり

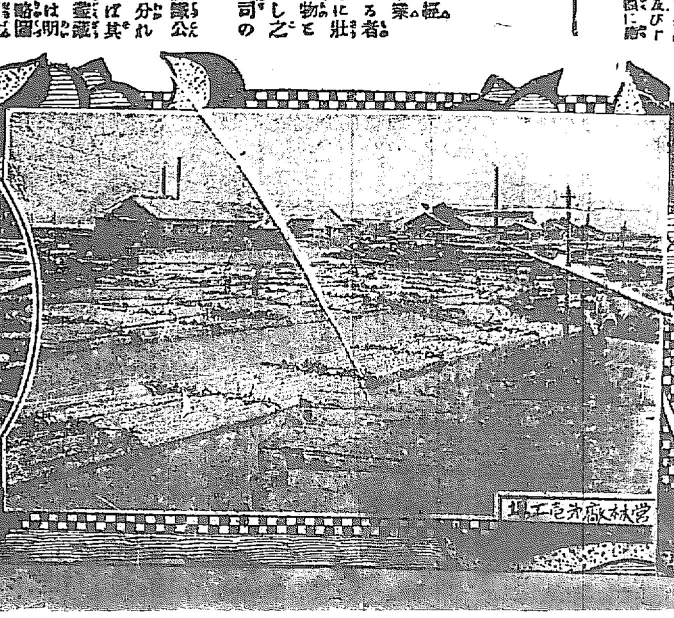
◇公司の沿革 本溪湖煤鐵公司は製鐵部採炭部及び營業部に分れ居れるが公司の沿革を概言すれば其の初め大倉組が炭質優秀炭量無盡藏なる本溪湖炭の採掘に著手せしは明治卅八年十一月にして同月鎭[illegible]軍政署に石炭の採掘を出願し同年十二月採掘許可を得て以來幾多の曲折を經日支合辦本溪湖煤鐵公司の成立を見資本金大洋二百萬元にて採掘を開始せしは四十四年一月一日にして此日大倉組は從來の經營採炭事業を公司に讓渡したるなり

◇製鐵事業の企畫 然るに其の以前より大倉喜八郎氏は滿洲に於ける製鐵事業に著眼し親しく調査する所あり[illegible]

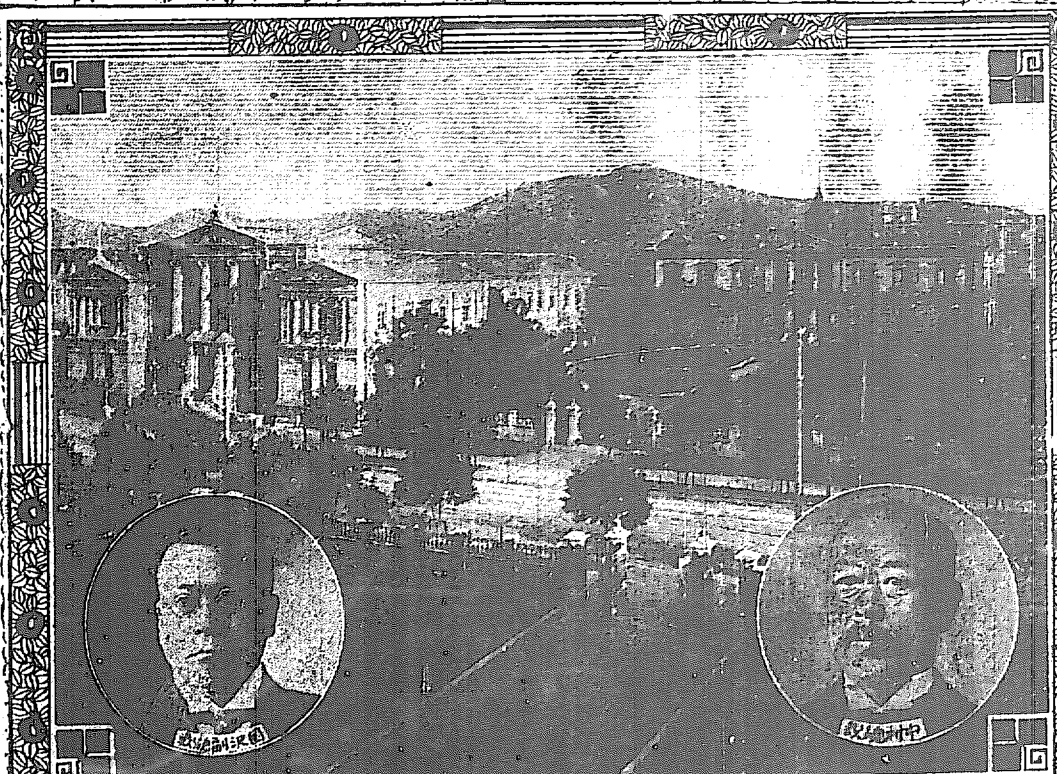




本溪湖煤鐵公司



營林廠木材工場



南満洲鐵道大連本社　中村總裁　國澤副總裁

始した、此航路は満洲を經由して上海及滿洲に於ける最捷通路であるから同地方に往復する郵便物は勿論旅客及び貨物の運輸は鐵道輸送と相俟つて頗る重要な施設に屬するのである其後貨客の増加に伴なひ船舶を新に備入し又た大連上海間航路の寄港地に青島を加へ大正三年十一月よりは毎週一回宛旅客貨物の輸送取扱を開始した而して本航路の成績は大正四年度に於て乘船人員一萬五千人貨物噸數十八萬噸收入七十二萬圓を計上するに到つた、右の外會社は船舶を備及び大連中國貨、要求の必要上運炭の香港及び廣東行き船舶と相俟つて香港航路を開始し現に三千噸級船二隻を以て運航に從事せしめてゐる

▲東洋の撫順炭坑　滿鐵が當初政府より引繼ぎを受けた炭坑は撫順、煙臺及び瓦房店附近に於ける炸子窰の三坑であつたが明治四十年七月露國鐵道接續協約の結果として露國政府より長春附近の石碑嶺及び陶家屯の炭田の引渡しを受けた。而して現に會社の經營しつゝある炭坑は撫順及び煙臺の二坑で炸子窰坑は于大翠氏に貸與し石碑嶺並に陶家屯の炭田は未だ全く經營に著手するに至つて居らぬ、撫順の炭坑は東洋第一の稱あり奉天の東約三十哩にありて其の炭田は渾河の南方に位し東西延

▲半島の中央銀行

朝鮮銀行は明治四十二年十月當時の韓國中央銀行として創立され爾來半島金融の中樞機關として能く其の職能を發揮しつゝあるは一般の認むる處にして而も其の一面に於ては一日も半島富源の開發を怠らず直接間接に産業資金の放出に勗め且つ同業者との連絡を密にし以て金融緩急の調節を圖り漸次金利低下の趨勢を促す所ありしかば朝鮮の財界は一般産業上の施設勃興と相俟て漸く發展の機運を釀成するに至れり而して此の間同行の業務亦逐年顯著なる發展を遂げ其の特權に屬する銀行券發行高は最近大正五年末に至り創立當時に比し三倍四分の増加を示し預金又四倍以上の膨脹を來し今や其の基礎漸く鞏固なると共に其の信用益々厚く其の聲望愈々重きを加へつゝあり而して同行は近時朝鮮に於ける産業の勃興進捗に伴ふ貸出金の増加と共年々膨脹すべき銀行券の發行並に營業區域の擴大に依る支店の増設等に基き大に之が資金の充實を必要とするに至れるを以て資本金一千萬圓を二千萬圓に増資するの運びとなりしが故に同行は正に愈々倍舊するの活動を試み我が財界に貢獻するもの多大なるべきは疑を容れざる所なり左に同行創立以來の銀行券發行高並に預金貸出の狀況を表記し以て其の業務發達の跡を窺ふに便せむ

年次	銀行券發行高	預金	貸出金
明治四十二年末	一三、四三九、七〇〇	七、六三一、六四一	三、七五五、九六四
同四十三年末	二〇、一六三、九〇〇	五、九六〇、六五〇	七、二七一、五一二
同四十四年末	二五、〇〇六、五四〇	六、九七八、二八一	一〇、一〇三、七四六
大正元年末	二五、五六〇、〇〇〇	一四、一六九、八七七	一五、四八七、五二七
同二年末	二五、六九三、二〇〇	二〇、八〇一、九二四	二三、五〇八、九八九
同三年末	二一、八五〇、三〇〇	一七、五九八、五〇二	二三、四五四、六四五
同四年末	三四、三八七、五〇〇	一八、五八八、六一〇	二九、六四八、六五一
同五年末	四六、六二七、〇八〇	三三、〇三三、四〇九	四三、一八六、七〇一

▲滿洲に於ける鮮銀

朝鮮銀行の半島に於ける能く活動は上述の如し、而して同行又た帝國の海外發展の一として其の使命たる國外發展の一事に至ても鋭意努力を吝まず彼我の交通經濟並に商民の爲に參畫すること鮮からず殊に滿洲に在りては從來其の門戶たる安東縣に一支店を置くに止まりしが曩に新滿洲間の鐵道運賃完成を告げ次に支那國境關税三分の一を減じ又朝鮮鐵道運賃の低減ありし等鮮滿貿易を促進するの施設交々行はれ同貿易の氣運漸く熟したるを以て同行又た大勢の趨くところに從て其の進展を企圖するの必要を認めたりしが一方我朝鮮の對外貿易は逐年逆潮の勢を改めすに之が決済は

▲朝鮮經濟上の一大問題たりと雖も其の根本的解決は之を他日に建さし或は鎖國を採り乃至留建に依る等甚だ錯雜を極め延ひて彼我貿易に障害を爲すは勿論其の日常取引に及ぼす惡影響の甚大なるものあるは世人の既に具驗する所にして今之が調整に任ずと云ふも頗る容易ならんや而も同行は自ら此の難局に當り其の整理統一を策し先づ銀行券の流通に努めたりしが鮮滿兩地間の經濟關係の密邇するに伴ひ同行券の流通漸く多きを加へたるのみならず滿洲に於ては他の通貨に對するよりも特殊なる滿洲を通じ之が流通區域は奉天を中心として次第に擴大され今や南滿一帶同行券の及ばざる處なきに至る更に長春以北北滿を衝き現在其の流通額三百萬圓を下らざるべし次に同行に於ては滿洲に於ける金本位の補助貨に資する爲め小額一覽拂手形を發行し金本位通貨の勢力を擴張するの手段と爲し此に大連支店に於ては客年十一月以來世界各地に對する金爲替相場の公表を實施し以て滿洲財界近時の大趨勢たる金建取引の促進上に重要なる意義を附し之に全力を傾注する等彼此相俟て最後の目的を達成せむとしつゝあり

▲特種借款　奉天支店に於ては客年六月及び八月の二回に亘り奉天財政廳に對し三百萬圓の貸出を爲し以て彼我經濟關係の接觸提攜を促進するの素地を爲せり之を要するに同行の滿洲に於ける活動振は生氣潑剌たるものあり既に同地に於て確固拔く可らざる根抵を築き其の對外貿易の發展を助長し我商權の擴張扶植に力を傾注して著々實効を收めつゝあるを觀取すべし而して當時滿洲の大勢は各地鐵道の新設延長と共に海港又漸次整備され此年交通の開發顯著なるに伴ひ各種産業は長足の進歩を來し商業從て殷賑を加へ就中將

十二輛、貨車數千七百十二輛之れに從事する人員九千三百廿二人に上る

◎線路は八字形◎

半島鐵道系は南北に縱貫する京釜京義線と、東西に橫斷する京元京仁兩線及び京釜線大田より分岐する湖南線とを其主要なるものとし形狀恰も大の字を形成す。之れ偶然にも將來大に展びんとするの大を表象する如く、南釜山は關釜連絡船に依り內地との交通開け、北新義州は鴨綠江鐵橋に依り南滿洲鐵道を介し遠く支那各地及び歐洲各國と相連絡す。又西は黃海の濱仁川より一葦帶水支那山東角と往來す可く、東元山は日本海を隔て、裏日本及び露領沿海州と相望み、將來咸鏡線開通の上は支那間島地方との交通至便となる可く更らに吉會線竣工の曉は北滿洲地方との交通に一大進展を來たすに至る可し、蓋し朝鮮鐵道系の大字形は意義ありと云ふべきなり。

◎運輸營業範圍◎

現在半島鐵道の運輸營業の範圍は朝鮮鐵道の各線は勿論として鐵道院線南滿洲鐵道線東清鐵道及び島嶼里道線に對して旅客貨物の連絡取扱をなし、支那國有鐵道、京奉京漢京綏津浦及び滬甯線並に露國內著名都市に對して旅客の取扱をなす外大阪商船朝鮮郵船同波共同汽船會社の汽船を介して朝鮮沿岸の諸津其他各港及び大連青島芝罘及び浦鹽等の諸港に對しても連絡運輸の取扱をなす

◎倉庫業と旅館◎

又朝鮮鐵道は運輸營業の外倉庫業及び旅館業を經營す。由來朝鮮の倉庫業は幼稚にして二三地方を除くは完備せる倉庫業無く、産業の發達を阻害すること尠からざりしが、本營業の開始に依り一般貨主は勿論地方在住商人は金融の途を得るに至り漸

如何に巨萬なるも單に伐採するのみにて造林に注意せざる時は遂には荒廢に赴く事必然なるを以て營林廠は其に第二次の林相に注意し主として天然造林法により更新を期する事とし又舊韓國政府時代の伐採跡地若くは從來の未立木地等にして天然力のみにて造林を遂げ難き地域に對しては特に各種の特別方法を以て人工造林を行ひつゝあり

▽巧妙なる廢物利用　從來製材により出づる切れ端は燃料物とする外多くの用途考察せられざりしが當廠長は右の切れ端を以て小羽板を造るの案を立て既に北海道より技能優秀の職工を招き多數鮮人に其の小羽板製法の傳授をなさしめつゝあり而して小羽板の使用特長は屋根を葺きて頗る外觀良く而して耐久力に富み極めて經濟的也、乃ちトタンにて一坪を葺かんとすれば八圓を要する小羽板なれば八分の一たる一坪一圓以內にて終るべし、現に陸軍の朝鮮軍經營計畫には之れを用ひつゝあり其の使用を洽く普及せば經濟と外觀に於て益さるべし尙ほ小羽板の外切れ端にて雲脂箱煙草箱等も製造しつゝあり之等は江湖の注文により極めて廉價に其の需めに應ずべしとの事なり

▽營林廠共濟會　營林廠北下及び九龍浦に在勤する職員及び傭人の福利を研増し懇親睦を圖り兼ねて勤儉貯蓄の美風を涵養し共濟をなすの目的を以て大正五年一月廠長以下傭人にて營林廠共濟會なる一團を組織し之れを修養部貯金部購買部の三部を設け大要左記の如く實施しつゝあり

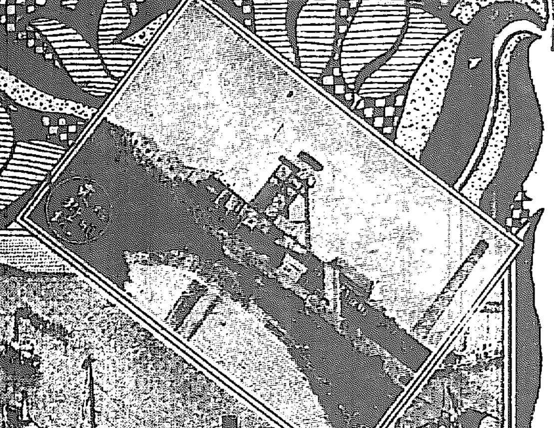
▽醵金　會員は會費として給料賞與及び旅費の各百分の一を納金する事

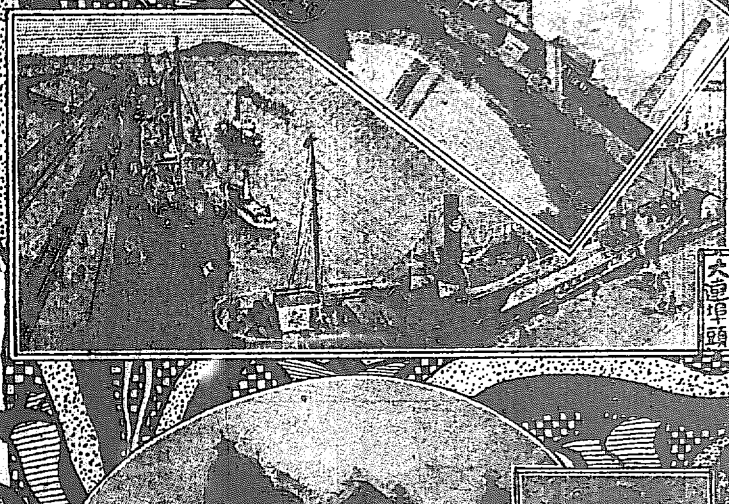
▽修養部の事業　（一）毎年一回以上

鐵事業は將來極めて有望なれば之れを同時に公司に於て經營するを可とせずやと熱心協議する所ありし結果支那政府の意運に動き各種の専門的調査を經たる末十月六日奉天に於て日本側代表大倉組と支那側の奉天總督府側代表との間に製鐵事業經營の契約調印され本溪湖煤礦公司は本溪湖煤鐵公司に改められたり、資本金亦其後の事業の擴大進捗に伴ひ目下七百萬圓に增加し居れり

◇無盡藏の原料　製鐵事業の經營に付最も必要なるは鐵鑛及び石炭なり然るに煤鐵公司の鐵鑛石は本溪湖を距る東方二十哩南坟停車場より南東五哩廟兒溝鐵山より含鐵量約分の鐵鑛殆んど無盡藏に採掘せられ而して石炭は總量二億噸と稱せらる本溪湖炭田より採炭しつゝあり本溪湖炭は半無煙炭にして製鐵用に最も適し又コークスを製造するに好し加ふるに製鐵原料の配合劑たる石灰石は本溪湖石炭層の下層に非常の礦層をなし存在せるあり如斯煤鐵公司の製鐵原料の産出は各方面共理想的良品にして何れも接近し居り事業經營上の便益少なからざるもの、へ其の成績の日に月に擧り行くは必しむを須ひず

◇現況と將來　今日の公司は殆んど全力を擧げて製鐵に盡しつゝあり壯大の熔鑛爐は二基を有し一日の製銑高約三百噸に達し居れるが更に歐戰以來の教訓に鑑み鐵材の需要愈々多からんとするより今回公司は資本金を增加し熔鑛爐を增設すべき計畫ありかくして諸般工業の根抵たる材料又軍備より云へば最も必要なる軍器の根抵たる材料を一日も速かに歐米の供給を俟たず東洋は東洋にて自給し自足する必要ありて上の方針を把持し著々其の經營を進め行くものゝ如し

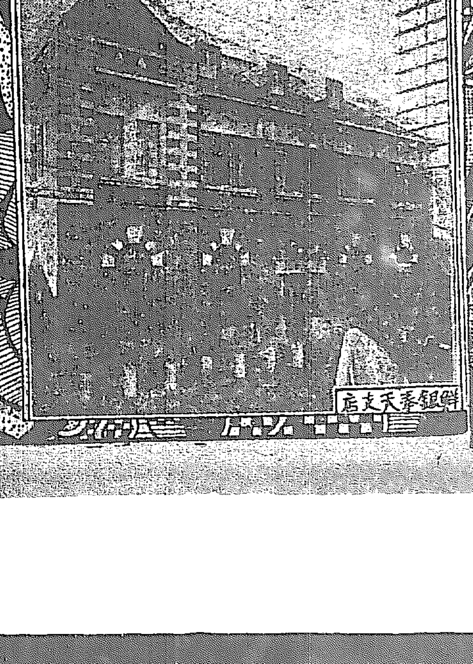




大連埠頭

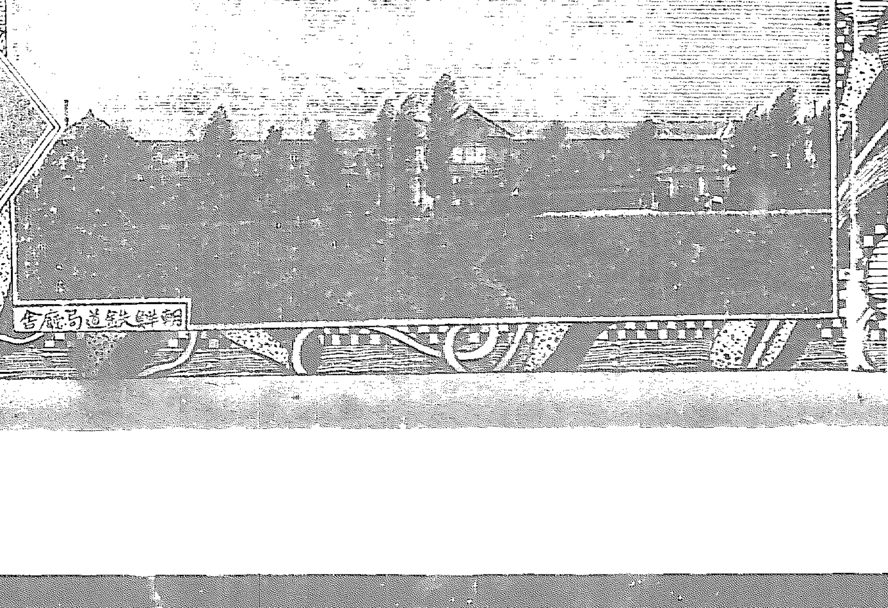
朝鮮銀行本店

鮮銀大連支店



鮮銀奉天支店

長官



朝鮮鐵道局廳舍

總ての組織が大きい
三井物產會社大連支店

△世界の到る處に支店を有して我國貿易界の覇者として誇る三井物產は滿洲に於ても亦唯一の巨頭である△由來三井物產がわが對支貿易の隆昌伸張に貢獻したことは云ふまでもなきを、其の對支貿易の第一著手は實に三井物產によりて指を染められたのである

△三井物產株式會社の二千萬圓の資本と一千四百九十萬圓の積立金、その資本の如何に豐富なるかそのやうに如何に厖大なるかは想像に餘りあることである

△今の大連山縣通りにある三井物產の支店は日露戰爭後の明治卅九年大連出張所として設けられたもので今のやうに支店となつたのは去る大正元年十月のことであつた

△はじめ出張所時代には箕浦焉三郎氏が主任として來りその後も安川雄之助氏が天津から來て襲ひいよいよ業務を擴大したのであつた

△その後安川氏が本店詰として去るや支那支店長が代つて著任するに及び同店の面目は更に一新するに至つた、而して先般その次の支店長古郡良介氏が逝去したけれども今は支店長代理岡田省風氏が盛んに活動して居る

△三井の仕事は有繋に大きい物產は獨り大連斯界に雄飛する而已ならず滿洲對外國貿易の隆昌發展をも其の手に收め滿洲特產物の歐洲輸出の大半は同支店の手に據つて取扱はるゝとなつた

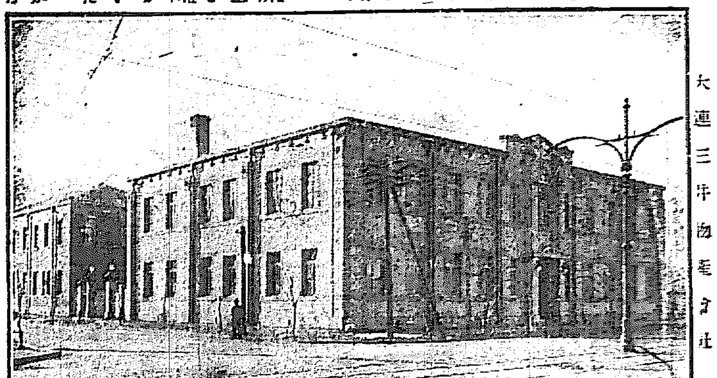
△斯くて獨り一方滿洲の輸入品の大宗たる綿糸布の如きも殆んど之を一手に掌握するの盛況を見るに至り世界的三井物產株式會社の聲價を益々宣揚しつゝある

△また三井物產の主なる取扱ひ業務は輸入に於て綿糸布、砂糖、麥粉、マッチ、金物、木材、石炭、機械類、建築材料等であつて輸出に於ては滿洲特產物ナ豆を始めとして豆油、ソーライト等、其の商取引年額は頗る巨額に達し怖らくは滿洲に於ける貿易業者として第一位を占るかも知れぬ

△猶同支店內船舶部にては日本郵船、遼東汽船各會社代理店、保險部にては明治、日本、横濱、共同、東京の各火災保險會社代理店をも同一手に取扱ひつゝある

△目下大連支店の幹部は左の諸君である

支店長代理船舶石炭係主任 岡田省風
庶務係主任 小平修三
支店長代理秘書 足立鐵之助
調查係主任 國松祐次郎
綿糸係主任 玉置菜次郎
雜貨係主任 堀部次郎
雜貨係主任 石田禮助
保險係主任 山室辰之助
勘定係主任 田中嘉三郎
出納係主任 岩島三郎


大連三井物產會社

正隆銀行

日支合辦金融機關の嚆矢 滿洲財界の雄正隆銀行は吾金融界の覇王として海內到る處に其羽翼を張り商工業者に對し活殺自在の權威を有する

△安田系の銀行なり、安田系六十二百餘の各關係銀行及び支店に於て有する預金の總額は二億八千餘萬圓に達し貸出金の總額は二億二千餘萬圓の巨額を算すまた吾財界の一大偉觀なりと云ふべし大連の正隆銀行は安田系にして其組織は日支合辦なり、その吾帝國の大陸經營策と相待つて特種の使命を帶ぶる點に於て其經營方針は自ら內地各關係銀行と趣きを異にするものあり、抑も正隆銀行は明治四十一年一月日露戰役後滿洲の開發に伴ひ日支合辦組織により資本銀二十四萬圓を以て營口に設立されたるものなり然るに時勢の進運は斯かる少額の資本を以て充分の發展を期し難きものあり卽ち四十四年一月關東都督府の後援と安田家の援助を得て營業の基礎を鞏固ならしむるに決し資本金を增加して金銀合計一百萬圓となし安田善三郎氏を頭取に推選すると同時に大連に本店を移し內部の刷新業態の擴張を行ひ同年十一月都督府より關東州地方費現金取扱方を命せられ茲に從來の面目を一新するに至れり越ゑて大正元年十一月本店新築家屋の竣成と共に更に貯蓄預金業務を開始せるが

△日支人の信用日に月に增加し又々資金の不足を告ぐるの盛運に向ひしを以て大正四年十月金二百萬圓の增資を行ひ其後資本の一部たる銀二十四萬圓を金に改め大正五年六月茲に全く金資本參百萬圓の大銀行となれり斯くて滿蒙に於ける金融機關として其の業務の擴張努力の進展と共に支店を增設すること滿洲各地は勿論對岸の山東天津上海等の各方面に及び現在積立金二十五萬八千二百五十圓每期の配當率年一割を持續するに至れり正隆銀行の常務取締役は三十年來安田家の重鎭たる愿出身の原田虎太郎氏にして支配人は同じく二十年來安田系の銀行に勤續し來り大正三年迄第三銀行大阪支店長たりし專修大學出身の川澄末吉氏なり松村久兵衞氏副支配人たり三者共に著實堅固なる安田型の營業振を發揮して剩す所なし

△支店所在地 營口支店(新開街)奉天支店(小西關)鐵嶺支店(銀孔町)長春支店(東三條街)開原支店(大街)四平街支店(...)天津支店日本租界旭街二一五、撫順支店(...)

△重役 取締役頭取安田善三郎、取締役字序圓、取締役永島久吉、取締役安田善兵衞、常務取締役原田虎太郎、監査役安田善助、監査役伊臣眞、支配人川澄末吉、副支配人松村久兵衞

大連正隆銀行

最も有望な鐵嶺電燈局
五千七百燈の需要がある

鐵道沿線中主要都會の一にして遼河水運の天惠に浴して滿洲唯一の交通地として著名なる鐵嶺に於ける電燈局は元資本十一萬圓の日支合辦組織の經營なりしも時勢の進展に伴ひ明治四十三年の九月元重役等と商議の結果現在社長松岡勝彥氏の經營のもとに營業を繼續しつゝありしが以來堅實に而も秩序ある發達を遂げ需要益々激甚を加へ現在燈力の如き實に五千七百燈に達し其の決算の如き引續き年六分內外の收益を擧げつゝある由は松岡社長以下專心經營に努力奮鬪の結果に外ならず因みに松岡氏は熊本縣の生身にして二十九年東京法學院卒業後北京振華中學堂長となり日露役の際は特別任務に服し大本營附となり勳六等及び大山侯爵より賞狀を授與せられたりと

日支合辦の模範
日清燐寸

△長春城內西二頭街に在り、資本金卅萬圓の日支合辦事業にして株數六千株、一株五十圓なり明治四十一年十一月を以て創立せり會社の專務取締役津久井氏は曾て農商務省の囑託を受け滿洲利源調查委員として渡滿し熱心なる實地調查の結果本事業の將來大だ有望なるを看取して日支合資を以て其製造工場を長春に設けしが支那側には趙卓立、顧興德、張松亭等五人より一千圓宛を又津久井氏自ら一萬五千圓を出資し合計二萬圓を以て明治三十九年十一月合名會社廣仁津火柴公司を創立せり、曾て奉天總督徐世昌氏は當工場を巡閲して附近在住二千餘名の支那老幼が家內手業として多大の賃銀を得つゝあるを見て非常に感賞したるなどの事ありしが其後勢力信用益々加はり其製品は需要に應ずること能はざるに到りたるを以て津久井氏は事業擴張の爲め廣島市有志團と協定して明治四十一年十一月資本金三十萬圓の現會社に改組したり

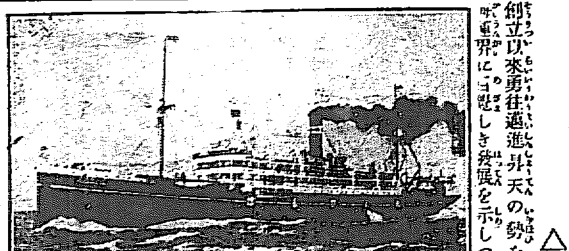
昨今工場使用の職工は男工三百人又通勤男女工二百人內外、一日平均百五十箱一個年六萬箱を製造し製品は主として長春及び長春以北に販賣せり會社製品は排貨の風なく例年夏期には一萬箱の滯貨あるに反し昨年七月の結算期には提業以來始めての好配當を爲すに到れり

△本社 廣島市紙工町六一番地△社長 高田... 取締役 津久井平右衞門△出張所 哈爾賓

大阪商船株式會社大連支店
△海は平穩に史蹟に富む航路

創立以來勇往邁進昇天の勢を以て吾財界に目覺しき發展を示しつゝある大阪商船會社大連支店は日露戰役當時の三十八年率先して開設せられたるものであるが爾來逐年業務の進展に伴ひ漸次大型の客船に改め現在にてはハルビン丸(五七〇〇噸)の新型汽船を始め臺南丸、臺中丸、嘉義丸の如き其船裁頗に善美を盡し二等室の如きも悉く船體の中央部に構造し航行中の動搖を防ぎ起居寬濶門司大連間の如きは史蹟に富める玄界灘あり南共洽も家居にあると異ならず且つまた横濱大連線として京濱名古屋の旅客其他貨物の交通線としては頗る便利なるものであるが長崎大連線も朝鮮各港を經由しつゝあり現在同航路の定期船は

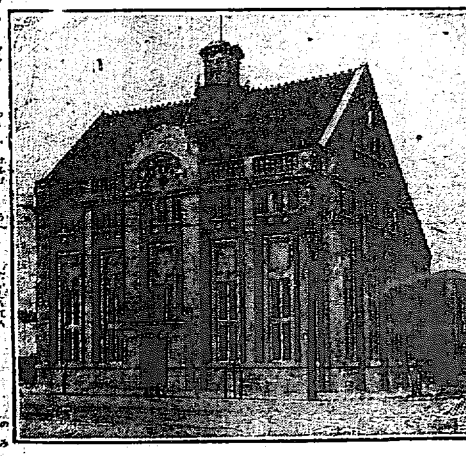
大阪大連線 每週二回 定期船四隻
横濱大連線 每月約三回 定期船二隻
長崎大連線 每月四回 定期船二隻


ハルビン丸

海運界の巨頭
大連汽船

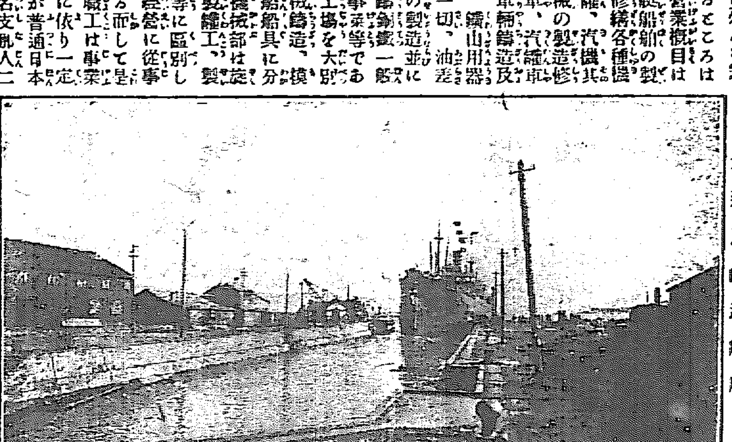
△朝鮮、山東、北支那間は去る明治四十四年六月河邊勝、田中末雄兩名組合組織の下に創立したる北清輪船公司に其端を發し其後業務の發展に伴ひ大正二年一月其組織を變更し大連汽船合名會社と改稱し大正四年一月合名會社を解散し新に株式組織とし資本金五十萬圓全部の拂込をなし更に大連汽船株式會社と改め大連港を中心とせる海運業及び倉庫業を目的として創立その後漸次業務の進步發展に伴ひ各航路を延長し其營業所を大連山縣通りに置けり而して同會社は滿鐵會社と種々なる關係を有し同事業の發達を計らんとの意味にて滿鐵重要社員を出資者名義の下に重役とし其取締役は田沼義三郎、河邊勝、田中末雄、久保要藏、秋山潔の五氏にして監査役に川村卯次郎、高木太郎の二氏を擧げ河邊、田中の兩氏を除く外他は皆滿鐵社員とし社長を田沼義三郎氏に總支配人を塚本貞次郎氏とせり而して創立當時の資本金五十萬圓全部拂込の同會社が僅々一箇年後の今日一躍五十萬圓より二百萬圓拂込濟に增資して其經營をすることになりしことは獨り同會社業務の上に一大進展をなしたる而已ならず大連を中心とする沿岸各地航路の一大發展と見做すことが出來得べし而も前期(大正四年二月十日より十二月末)會社の收入金額を見ると船舶收入七十三萬五百八十九圓、金庫收入千百二十九圓合計七十四萬九千九百九十八圓であつて其營業の狀態は純利一萬三千八百圓年率二割一分を收め居れり而も年率一步といふ會社の成績としては頗る佳良なりといふべし

以上は同會社營業狀態の一端として其如何に同會社が駸々として業務の振興發達をなしつゝあるかを示せるに過ぎざるも同會社が更に鮮滿山東を經て南滿各地に渉り航路を擴張し更に安東大連天津航路に發展せるは大に特筆大書すべきものなりまた會社は夙に朝鮮各地より山東を經て大連に至り更に天津北京青島山東各地に至る荷客の利便を圖らんが爲めに特に安東大連天津航路を開始し天潮丸(一千三百噸)濟通丸(一千百噸)二隻の汽船を每月六回宛安東大連間(十五時間)運賃一等十圓三等五圓、安東天津間(二十五時間)一等二十五圓三等十圓五十錢を以て運航し居れり而も同航路汽船は獨り安東大連天津の荷客の便利を圖る而已ならず大連を中心とする大連秦皇島線、大連旅順登州龍口線、大連柳樹屯線、大連貔子窩各線並に會社以外の汽船連絡に便し天津獨逸租界並に安東縣財神廟街に各出張所を設け專ら懇篤叮嚀の取扱を爲しつゝあり(本社大連山縣通り電話六六三)


大連汽船會社

川崎造船
△大連船渠並に附屬工場

株式會社川崎造船所大連出張所は明治四十一年十一月開設されたが當所はもと露人經營のドックを海軍防備隊の管轄より滿鐵會社之れを引受け更に當社に於て引受けたものである造船所は大正三年四月頃より入渠八千噸造入渠する事とした工場は滿鐵會社の五百噸以下の主運船及び小蒸汽船數隻を新造したが千噸以上のものは設備の都合上未だ建造せず入渠船及び機關、豆粕製造器製造、其他器械の修繕は年々增加しつゝある其唯一事業たる船渠は滿鐵より繼承の當時は長さ三百八十一呎幅四十二呎十一吋に過ぎなかつたが大正二年之を擴張し改修を加へ長さ四百三十呎幅五十二呎に增大し慈に五千噸級の船舶を入渠し得べく其他入渠よりなる工場を擴張し諸機械を增設し工場全部殆んど完全せざるところはない其營業概目は各種艦艇船舶の製造及び修繕各種機關、汽罐、汽機其他諸機械の製造修理、汽車、汽罐車、電車、車輛、鑛山用器、諸機械の製造並に其機械一切、油差修繕、鑄鋼鐵の一般の鐵工事業等であつて又工場を大別して機械、鑄造、模型、鐵船、船具に分ち同じ機械部は旋盤、鍛冶工、製罐工、製鋼に區別し總て仕上等に區別して是等營々其經營に從事して居る而して是等從業職工は事業の繁閑に依り一定しないが普通日本人約百名支那人二百名內外を使用して居るまた同所作業の狀態は其當初大連港を中心とし將來南運界の發展膨脹に伴ふ造船施行其他艦船の修理に際し同船渠利用の目的なりしも其後大連港は固より大連港碇繋船舶の定期檢查內地定期檢查施行に伴ひ當初の豫一轉せると歐洲動亂の影響を受け一般海運界頗る活況を呈するに係らず船腹缺乏の爲め大連入船舶の數を著しく減少した等種々なる關係の下に尠なからぬ打擊をうけたけれども近は時局の影響より來る自然の趨勢が如斯せしめしもの今後の發展は期して待つべきである猶ほ當所の入渠所改修要等は殆んど內地と大差なきを以て同所將來益々有望なるべく吾人は彼川崎造船所が國家永遠の策を立て猶且つ多大の損失と其擴張に巨額の投資を惜まざる措置に多大の同情と敬意とを表するものである猶ほ岩藤所長並に富田支配人市原技師長其他從業員諸氏の盛んなる活動を多とするものである


大連川崎造船所

○大連の名物
福昌公司
△店主相生由太郎氏

福昌公司は上記荷役作業の請負を重なる事業とする相生由太郎氏の個人經營にして明治四十二年の創立に係り常に一萬に近き日支人を使役しつゝあるが他に土木、建築、石材、煉瓦、金物、東京製綱會社製品及び電氣化學工業會社製品カーバイト滿洲一手販賣、豊國火災保險會社代理店其他諸雜貨品代賣、大連、熊岳城、劍山、金州各地の農園等を經營し數年前より更に南洋新嘉坡附近の護謨事業にも手を染めつゝあり南山麓なる苦力宿舍『碧山莊』は氏の理想に基き明治四十三年冬建築せるところにして宏大なる九十棟の洋風建築は行人の目を驚かすに足り其收容力は優に一萬餘人を容るゝに充分なり埠頭荷役の關係等に於て是等苦力の生活の安定を保たしむべく煉瓦製造、石材採掘、土木建築等の諸事業を兼營し四時其職業に安せしむるの方針を執り居れり此苦力宿舍の一角を新に生町と稱し井然たる一街區を作す氏はまた店員の待遇に至らざるなく店員の爲に建設されたる俱樂部には圖書室、柔劍道場、球戲室、食堂、テニスコート等あり各店員は業務の餘暇此處に來りて各其欲する所の娛樂を擅にするを得べく又俱樂部內の集會室は優に三百人を收容するに足るべし福昌公司主相生由太郎君は慶應三年四月を以て福岡に生る、父なる人は任俠の爲に產を失ひ君は幼時辛さに世の苦勞を嘗め盡したるも刻苦精勵明治二十三年嘉公の經營せる中學修猷館を了へ同年黑田侯の貸費生に採擢せられて東京高等商業學校に入り廿九年七月同校を卒業せり高商卒業後日本郵船會社に入り次で市立名古屋商業學校丹波柏原中學に教鞭を執り更に三十一年九月三井に入れり斯くて四十年滿鐵會社創立せらるゝや聘せられて大連埠頭事務所長となり埠頭荷役の經營を一任せらる四十二年十一月埠頭事務所長の職を退くと共に福昌公司を起し大連及び營口の苦力請負業を開始せり君は斯くて官營大連取引所商議員、滿洲重要物產組合副組合長、大連商業會議所會頭、官選市會議員、滿洲水產、大連信託、大連土地家屋、大連油脂工業、長春の北滿銀行、北滿製粉及び大正海運會社の重役等を兼ね公私諸方面の事業に干與し大連實業界の巨頭となれり三十餘年前に於ける白面の一書生は今や滿洲成功者の巨頭、囑の人、鮮の人として內外に其名を擅にす君の得意や想ふべきなり

三林公司
支那人向の煙草

奉天小西門裡岩谷二郎氏の經營に係る煙草製造販賣業三林公司は明治三十九年十一月の開設にして同氏が單身滿洲の天地に率先して何等の後援なく幾多の苦心と寢食を忘れて幾多の店員と共に專心經營に努め支那人の愛顧を得るに至れり熱心なる態度は大いに敬服に値するものがある目下同公司の製品としては長春に出張所を置き兩切其他の販賣に從事しつゝあるが奉天方面の代理販賣たる「三塔套」の實行は各上流社會の嗜好に適し頗る好評を博し實行き旺盛を示しつゝあるが店主岩谷氏は氣概あり且萬事に銳敏なる才能ある青年にして一步は一步成功に近付きつゝあるは精力傾盡の美果である

大連油脂工業株式會社
▽滿洲に於ける世界的大工業

△大連油脂工業株式會社は滿鐵中央試驗所多年の調查研究を基礎とし豆油より更に硬化油其他の加工々業を目的とする會社である

△滿洲に於て大豆より油を採取する油房事業は其數百を以て數ふると雖も更に其豆油を精製して硬脂製造業のなかりしは夙に識者の遺憾とする所であつた

△然るに先年來滿鐵中央試驗所にて種々な調查研究の結果最近脂肪酸製造法を發明し初めて滿洲油脂工業の曙光を認め更に進んで一層有利なる硬脂製造試驗を完成したのである

△硬脂製造業は實に世界的大工業の一にして獨り食物に供せらるゝのみならず石鹼蠟燭其他原料品として其需用極めて多くステアリンは世界に於ける需要年額十萬噸を超ゆ硬化油は十五萬噸に上り逐年增加の趨勢にあり

△而も其價格は歐洲戰前前者は一噸我が四百五十圓後者は三百五十圓內外を唱へしも戰後著しき騰貴を見るに至つた

大連油脂工業會社

△されば此の有望なる事業は創立早々より世間の注目する所となり總株數三萬株の內一萬株は滿鐵會社持株とし七千株は發起者を株主とし其餘の三千株を募集したのである

△然るに各方面よりの應募者頻々として到り三千株を公募株に對する百六十倍の申込ある盛況を呈し遂に之を按分して各希望者に分てるに見ても如何に同會社の有望なるかを窺知するに足るべきである

△由來東洋に於ける石鹼と蠟燭製造業は餘り振はず隨て硬脂の需要多くなかつたが今次歐洲動亂の結果は支那南洋及び印度方面に對する歐洲油脂加工品の供給全く杜絕したるを以てわが滿洲硬脂の販路を擴張し惹ては世界的吾人の地歩を占むるに千載一遇の好機會を得たのである

△されば會社は其原料豐富にして廉價なる滿洲豆油を以て硬化油業を經營し硬脂は一部の原料とし殘部は更に再製して支那西比利亞印度南洋及び日本內地等無限の市場に供給せんとするのである

△それで會社は當初先づ比較的小規模の工場を設立し最も需要多き硬化油及びステアリンの製造販賣に從事し其傍ら石鹼グリスリンの製造を營み漸次一大規模の工場を增設し斯業の經營發展をなさんとの計畫である

△猶ほ會社の製品並に販賣方法を聞くに第一硬化油は牛脂と同一の性質を有し石鹼原料として食料品として使用せらるゝものであるが近は一箇年の製造高七百二十噸內五百七十噸はステアリン及び石鹼製造原料に使用し殘り百四十四噸を販賣する豫定である

△また其の販賣豫定額は之を母國の牛脂輸入量に比すれば僅々其の十分の一にだも充たぬから其販路は母國而已にても外大の餘地あるや明である

△またステアリンは蠟燭原料として年々其需要を增加しつゝあり會社一箇年の製造豫定高は三百六十噸であつて我國の輸入高は頗る少量なれども支那露領亞細亞に於ける需要及び再製品としての蠟燭の輸入は莫大なるものであるから會社製造高の如きも頗る有望である

△猶ほ會社で造る石鹼の製造年額は一個三十匁のもの三百六十萬個の豫定であつて而も其の價格に於て南滿洲輸入の石鹼に比して會社のは一個一錢二厘の低廉である

△またグリスリン一箇年製造所定高は五萬七千六百キロ瓦にして歐洲輸入品杜絕の爲め近年我が國の製造額漸次增加の傾向あれども滿鮮地方持妥と

に支那方面の需要に對しては價格其他の點に充分彼我競爭の餘地がある

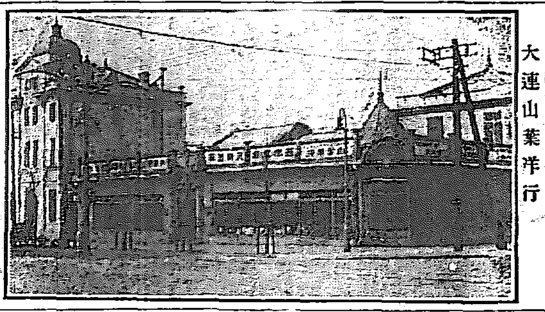
△されば此の會社の事業が斯の如く有望視されるも無理からぬ事であつて目下會社の資本金は一百萬圓株式は之を二萬株に分ち一株の金額五十圓とし第一回の拂込金十二圓五十錢二十五萬圓は第一期經營資金に當つる筈

△尙ほ內十五萬圓は運轉資金とし九萬五千圓の工場其他機械一切の設備費とし五千圓を其創立費とする筈

洋樂器製作先覺者
山葉洋行大連支店

大連信濃町に於ける山葉洋行は本邦洋樂器製作界の先覺者として有名なる山葉寅楠氏の日本樂器製造株式會社大連支店である同社の歷史には世に誇るべきもの多く其創立は明治十八年以前にして當時西洋樂器と云へば殆んど舶來品に限られ而も其高價なること夥しいものであつたそこで山葉氏は先づ率先してオルガンとピアノの製造に著手して慘憺たる苦心を經て技術の精巧を究め遂に

▣舶來品を　凌駕するに至り大ひに輸入品を防遏するに至つた努力二十餘年間當時の幼稚なりし我樂器製作界をして今日あらしめたる功は沒すべからざるものである兎に角現今に於ては內地は勿論盛んに海外にまで輸出して聲譽を博すると共に授與されたる金銀牌は數十個を算し隨つて各學校、家庭用として到る處山葉式オルガンの音を聞かざるはなき有樣にて今や本邦に於てはオルガンやピアノは最早舶來品を仰ぐの要なきのみならず却て

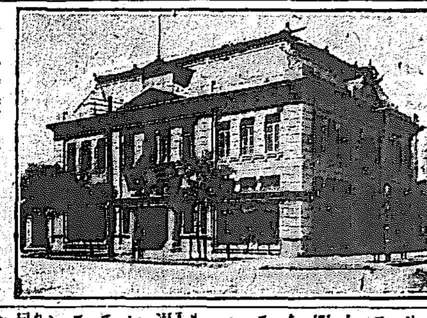


大連山葉洋行

▣輸出貿易品　として有望な地位を占むるに至つた、これ獨り山葉樂器の榮譽に止まらず延ては國家經濟上の一慶事と謂はねばならぬ、大連支店は明治三十八年開始業務は支店長平井大次郎氏の經營の下に家具製造工場を市內播磨町に又製材工場を朝日町に奉天新市街、青島浪速町に出張所あり猶同行主平井氏は民間有力者として一般識者の信用厚く目下市會議員として公私共に大連市の爲めに盡瘁する處決して鮮少ではない(大連信濃町電話三〇六番)

東洋唯一の三越吳服店
▽大連出張所模範的設備

我國の津々浦々は素より遠き海外まで知られた三越吳服店の大連出張所は去る明治四十年八月の開設であつてデパアトメントストアーの先命



三越吳服店大連出張所

とする價格單一法と嶄新なる商品と價格の廉價なるは從來殖民地に於ける因循なる商慣を打破し生活上の恩

▲美觀こそ　新開の境土に於て供給するところの店である三越の斯の如き營業振りは新開地の滿洲に於て頗る世の時好に投じ開業以來店舖の狹隘を告ぐるを以て大連目拔の場所たる大山通りと吉野町との交叉せる一角に新式洋風家屋を建築し去る明治四十五年六月現在の所に移轉したのである、商品の陳列場は二百四十坪に餘り別に三十六坪の事務室ありて滿洲に於ては多く見るを得ざる新式商店である殊に來客の

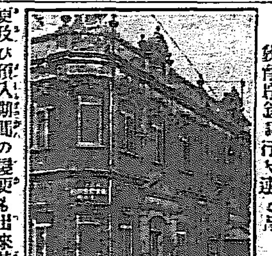
▲待遇設備　の完備は云ふ迄もなく冬期は煖房の設備をなし其の溫氣管の調和は如何なる風雪の時といへども殆んど春風駘蕩の樂園に入るの心地であるまた其の商品潤澤なる三越に來たらば無きものなしと云ふ有樣にて人間一代頭の上の飾より足の爪先まで悉く揃へて決して世界の流行に後れてはゐない、殊に三越の誇りとすべきは最近に於ける支那人間の顧客が非常に增加し其進物用商品切手利用の如き盛んに流通しつゝあることである

頗る現代向の教育貯金銀行
▽推奬に値するは晝夜營業

本店を東京に有する株式會社教育貯金銀行大連支店は滿洲に於ける財界の重鎭石本鏆太郎氏を頭取として常務取締役長尾倉三取締役加藤尙志穗積監查役守屋善兵衞、星一諸氏の連帶無限責任で同行營業方針として推奬に値するは各家庭に於る教育資金と

▣獨立自營　の資本を貯金するを目的とする頗る現代向き面白き便利なる貯金方法である、此の貯金は壹圓以上何程の端數でも預金者の隨意に每月か額宛三ケ年以上五ケ年間預け入れ滿期の時に元利金を支拂ふ方法で此の貯金の利率の如き預入三年以下は年五分五厘五年は年六分で外の貯金よりも利子の

▣割合が宜く　其上貯金者の都合で中途で解約又は預金額の變更及び預入期間の變更も出來其上取扱時間の如き每日午後八時迄あるから仕事の忙しい人とか無人の家庭で銀行の營業の時間に出かける便利の少い人達とか又は銀行に不便の所の人の爲めには集金人を差出す方法も採りてあるから極めて便利である殊に貯蓄預金の如きは十錢以上何程にても取扱ひ又は引出も何程にても隨意である大連支店の雄本支配人は



教育貯金銀行大連支店

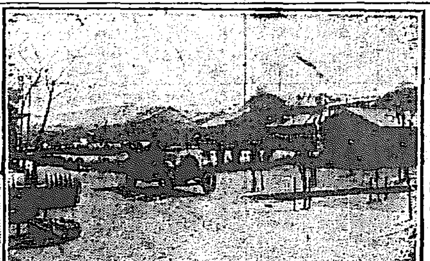
▣專心經營　に努め其熱心なる態度は行運日に月に多大の信用を博して居る因みに同行內に於て和蘭泰の商號のもとに兩換をなしつゝあるが一日の取引高二百五十萬圓の多額に達しつゝありと

滿洲油房の鼻祖小寺洋行
▽一箇年取引高八千萬圓盛んなる發展振

△小寺洋行は滿洲に於て錚々たる個人經營の大きな店、先づ三井物產に次いでの巨擘であらう

△行主は神戶の小寺壯吉氏、滿洲に於て日本人として始めて油房(大豆より豆油を搾取する事業)を經營した人で滿洲では小寺の油房か油房の小寺かと云はれて居る

△元來滿洲に於ける油房事業は滿洲唯一の工業であつたが最初は誰れも著手する者が無かつた、然るにわが小寺洋行は當初營口に油房工場を建設し經營上具さに辛酸を甞めたものである



大連小寺洋行製油所

△されば最初の苦心も容易ではなかつたが後ち事業が駸々として發展するに伴ひ小寺洋行の事業は非常なものになつて來た

△卽ち明治四十三年十二月には營口の他に大連軍用地に於て敷地六千餘坪の地を劃し千餘坪の宏大なる油房工場を建設し最新式機械動力を以て製油製粕を開始した

△油房の主任は高橋顯平氏每日數百人の日支人を使役督勵し一日豆油約二萬斤豆粕五千枚の製造能力を有し其製品の成績頗る良好にして內外人士の好評を博し漸を追て其販路を擴大し一箇年の取引高八千萬圓の巨額に達したのである

大連小寺洋行製油所內豆油貯藏場

△猶同行は營口に本店を有し油房業の外倉庫業船舶業を營み其他支那牛家屯に油房並に一大農場の經營をして居る

△猶ほ補盤哈爾賓、上海に各支店を有し神戶に支店を有し彼我の商取引をなすと同時に歐洲一大市場に發足を延し英國倫敦に支店を設置し直接對外貿易をなし何れも好成績を擧げてある

△斯く歐洲市場に滿洲豆油を照會し其の販路を擴張し彼我の商取引を開始したのは實に小寺洋行支店を以て元祖とし年々滿洲豆油の聲價を昂むると同時に同地に於ける同行支店の取引高追年多きを加へ一箇年約二萬斤以上の巨額に達し益々增加の趨勢にあるといふまた盛んなりといふべきである

鐵嶺の商品陳列館
沿線唯一の陳列館

株式會社鐵嶺商品陳列館は日露役後鐵嶺軍政署の企畫にして其後軍政署の撤廢せらるゝや關東都督府の管理に歸し現社長早田氏當初より之れが企畫に參與して館長となり大正二年其組織を資本金二十萬圓全額拂込の株式會社に變更したり元來同館は日本品を陳列して支那人の購買心を喚起增進する目的を以て設立せられ其建物の如き頗る宏大なる建物にして出品者は東京、大阪、神戶等にして常に三萬圓以上の陳列あり卽賣及び卸賣をなし支那人の來館するもの頗る多しとす

活躍せる滿洲殖產株式會社
貸金、信託、仲介、製鹽及び農事

滿洲殖產株式會社

滿洲殖產株式會社は大連市目抜の場所愛宕町にあり創立は大正二年七月にして專ら滿洲に於ける產業を開發する爲め民間企業家に對して資本の供給を容易ならしむるの外自ら殖產的事業を經營して之れが振興を講ずるの目的を以て成立せり現在の社長には京城の中村再造專務取締役に村岡角輔取締役には京城の林田金次郞森勝次大連の石本鏆太郎監查役には京城の古城梅溪氏等にして京城及び大連に於ける資產家の有志相謀り資本金五十萬圓(一株五十圓一萬株)四分一拂込の十二萬五千圓とし諸貸付金、製鹽及び農事經營信託金の取扱及び其貸付、土地建物賣買仲介並に管理各種商品委託販賣其他之に附帶する一切の業務を營む爲め設立せられたるものにして本店を大連に置き次で支店を旅順に開設爾來四箇年餘逐年業務の發展に伴れ目下の諸貸付金は約二十數萬圓にして動產不動產を擔保として堅實なる貸出をなしつゝあるが支配人としては堅實敏腕の聞ある和田篤明氏にして多數の社員を督勵して社務の發達を圖りつゝあり

大連起業倉庫
小島鉦太郎氏個人經營

△在大連山縣通五十二號地大連起業倉庫は小島鉦太郎氏獨立經營に係るもので由來大連には滿鐵埠頭倉庫はありしも個人經營のものなかりしに私人として此の企業あるは嘉ぶべし

△倉庫は大連唯一の倉庫にして去明治四十三年十一月の創設に係り其當初同倉庫は僅々百五十坪の小規模の倉庫なりしも漸次業務の發展と共に狹隘を告げ爾來年々倉庫の增設をなし目下山縣通、軍用地淡路町全六棟よりなる六百坪の一大倉庫を建設するに至れり

△設立以來の小島氏の努力は漸を追て日支人の信用を厚うし一方同行發行の預證券、倉入證券は銀行の割引を受け得るが故に金融上頗る便利となれり

△同庫は其保管料の低廉なるに加へて最新式地下庫の設備を有するを以て荷物の保管保存上便利なるを以て昨年來日支人の入庫物品日に月に多きを加へ麥粉米豆粕外雜品三千萬乃至四十萬噸の多きに達するの狀況にあり

△抑も小島氏が同倉庫業を開始せし今昔を聞くに同氏は多年北海道にありて專ら北海道材の貿易に從事し傍ら土木建築請負業に從事しつゝありしが時恰も日露戰前に當り山東天津地方輸出材益々旺盛なりしを以て去る明治三十六年斷然悟る所ありて天津に航せしも間もなく日露戰役の發に遇ひ事業意の如く成らず其後天津より營口に移り轉じて大連に來り專ら土木建築請負事業に從來し其傍ら四十三年以來同倉庫事業を經營し以て今日の盛況を見るに至れりと

滿洲に飛躍せる共益社分店

朝鮮に於ける貿易界の中第一流として地位、權威を確實に有して斯界の大勢に細心の注意を怠らず逐年業務の發展に伴れ半島の貿易業として斯者たるのみならず吾產業上に於ても牛皮又は穀物の改良上に頗る貢獻したることは知らないものはないが同社が大正元年以來滿洲奉天及び長春北滿哈爾賓方面に分店を置き大飛躍を怠らざるが奉天主任としては大場啓氏なるが氏の營業上常に思慮細密市場の光景を精細に稽查觀察して而して其取引の如き金票本位なる爲め滿洲の如き銀票の高低盛なる處も何等大口取引上にも不安なく益々店舖の確實を以て喧傳せられつゝあるは大に同社の營業方針として推奬に値するものがある殊に長春分店の如き西原氏を始め年少氣鋭の士多し將來頗る有望である

滿蒙化學工業
資本金五萬圓の合資會社

△昨年奉天附屬地に創立されたる滿蒙化學工業會社は滿蒙利源の開發を目的とし且つ最新式の膠及び採油等を營み進んで化學工業の各般に及ばんとする計畫を以て本年三月より製造に着手せり

△藥用ゼラチン及び工業用膠等が戰前歐米より我國に輸入されし若は年額六十萬圓に達せり而かも我國當業者の膠製造方法は依然舊式の製法を以て甘じ其原料中に含有する生膠質は僅に二分の一を採取さるゝに過ぎずして莫大なる遺利の空しく棄失さるゝことは想像の外にあり又採油法も方法幼稚にして其含有量の二三割を遺棄しつゝあるの有樣にて之れが製法の改革は久しく斯界の問題になれり

△然るに同社村上友記氏は苦心研究の結果遂に最新式膠製造法及採油法を發見し同業界に一大福音を齎せり

△また採油法は抱式、螺旋式、水壓式、溫壓式等の各法に依りて含有油全分を採取して且つ勞力及び時間を省略さるゝ等從來の缺點を盡く補ふを得たり

△會社は資本金五萬圓の合資組織にして都督府より金九千圓の補助金を受けたり出資者左の如し

△藥學得業士村上友記△貿易商松尾八百藏△銀行業久米寬二△權太親吉

(奉天新市街鐵道附屬地電話九二)

奉天市場株式會社
奉天一の魚市場

△會社は昨年專務取締役松丸孝三氏の起業せるところ滿洲沿岸水產物の一大消費場開拓の目的を以て奉天に創立されたるものなり

△松丸氏は北滿及び支那の事情に通曉し奉天に於ける魚菜市場の最も有望なるを看取して企業せしものなるが資本金五萬圓にして一般荷主の委託販賣に努め居れり

△會社は朝鮮釜山沖に一箇處の漁場を有し天津にも近く專屬漁場の開設を企劃中、漁獲物は總て奉天に直通の上低價販賣の方法をとりつゝあり

△本年一月より二月迄の取引高は一月四萬五千六百八十一圓三十錢、二月七萬七千六百四十一圓十錢、三月十萬三千三百卅二圓にして該社は一年三百萬圓の取引額を見る可き大抱負を以て大に斯業に活躍しつゝあり